

ひとが賑わうまち

【基本施策1】
インフラ整備プロジェクト

事業番号	事業名 行橋市都市計画道路見直し事業				新規・既存の別	新規			
課名	都市政策課		係名	都市政策係					
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了（期間を設定していない場合は空白）				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			令和 2 年度	～ 令和 4 年度			
	施策項目	1. 適正な土地利用の推進			根拠法令等	都市計画法			
事業概要	将来の少子高齢化社会に対応した財政面・経済面で持続可能な都市経営が課題となっており、現在、公共施設総合管理計画、立地適正化計画を策定された。これらの計画と整合をとるため、集約型都市という新しい都市像に合った都市計画道路網の整備・見直しが必要であり、また、長期間未着手の都市計画道路については適正な土地利用の推進の観点からも見直しが急務となっている。 よって、都市計画道路網全体を見直し、存続・変更・廃止の路線検討や存続路線の整備順位付けを行う。				事業の性質（複数選択可）				
達成のめやす	令和5年度で事業を完了する。				<input type="checkbox"/> 1 継続性のある事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 緊急性の高い事業 <input type="checkbox"/> 3 人口増加に寄与する事業 <input type="checkbox"/> 4 住民サービス向上事業 <input type="checkbox"/> 5 防災関連事業 <input type="checkbox"/> 6 総合戦略対象事業 <input type="checkbox"/> 7 その他（ ）				
留意事項	関係部署と調整が必要。								
期待する効果	将来の集約型都市に合った交通体系を確立し、持続可能な都市経営の実現を図る。適正な土地利用の推進を図る。				優先順位マトリックス（ハード事業のみ）				
数値目標 （事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標					
		進捗率 30%	進捗率 65%	進捗率 100%					
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと								
年度の事業内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業の位置づけ					
		<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路の整備状況の把握 検討対象路線（区間）の整理 検討対象路線（区間）の必要性和評価 	<ul style="list-style-type: none"> 将来交通量配分 変更・廃止に向けた具体的な検討 検討委員会（2回） 	・都市計画道路見直し （この欄には事業全体の内容を記載のこと）					
事業計画（事業費、単位：千円）									
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業費					
財源内訳	国	0	0	0	0				
	県	0	0	0	0				
	地方債	0	0	0	0				
	負担金	0	0	0	0				
	その他	0	0	0	0				
	一般財源	0	2,884	11,065	26,016				
	合計	0	2,884	11,065	26,016				
予算費目	会計	一般	会計	費目名	土木	費			
補助金	なし	⇒	名称	対象事業費	0千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0千円
地方債		⇒	名称	対象事業費	0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円

事業番号	3423	事業名	今川PA交流拠点整備事業			新規・既存の別	既存				
課名	都市政策課PA事業推進室		係名	PA事業推進係							
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了（期間を設定していない場合は空白）						
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成	29	年度	～	令和	5	年度
	施策項目	1. 適正な土地利用の推進			根拠法令等	都市公園法					
事業概要	地方都市における高速道路開通のデメリット要素となる通過点、通過都市化に伴う交流人口の減少等を防ぐため、市場性が担保された既存のストックである今川PAと連結した交流拠点（ハイウェイ・オアシス）を官民連携で整備し、その運営を通じて「地域経済活性化」に寄与する新たな玄関口とする。				事業の性質（複数選択可）						
達成のめやす	交流拠点整備が完了したとき				●	1 継続性のある事業					
						2 緊急性の高い事業					
留意事項	財源負担を最大限に抑えた事業スキームの構築、当該スキームにおけるリーガル対応、新たな投資対効果の考え方、他の産業振興施策からの後方支援等				●	3 人口増加に寄与する事業					
					●	4 住民サービス向上事業					
期待する効果	賑わいによる外貨の取得、地域内循環構造への貢献、市民のクオリティ・オブ・ライフの向上				●	5 防災関連事業					
					●	6 総合戦略対象事業					
数値目標 （事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標）	令和元年度		令和2年度		令和3年度		優先順位マトリックス（ハード事業のみ）				
	20%		40%		50%		最終目標				
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと		交流拠点整備完了を100%として、進捗率により達成度を測る。								
年度の事業内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業の位置づけ				
	基本計画を含むランドデザインの策定 経済波及効果の算出 （平成30年度からの繰越）		都市計画決定 PFI+Park-PFI公募指針の策定 公募前サウンディング型市場調査の実施 都市公園整備事業認可の取得 基盤整備費等補助金要求		事業対象用地測量 地質調査 都市公園整備事業認可の取得（継続） 都市公園事業概算要求		地域経済活性化に寄与する都市公園「ハイウェイ・オアシス」の整備 （この欄には事業全体の内容を記載のこと）				
事業計画（事業費、単位：千円）											
財源内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業費				
	国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	12,766	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	35,815	3,192	30,000	0	0	0	0	0	0	
	合計	35,815	15,958	30,000	0	0	0	0	0	0	
予算費目	会 計	一 般		会 計	費 目 名	土 木		費			
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備総合交付金	対象事業費	0 千円	補助率（%）	0.0%	補助予定額	0 千円	
地方債	あり	⇒	名称		対象事業費	0 千円	充当率（%）	0.0%	充当予定額	0 千円	

事業番号	3010	事業名	耐震促進事業			新規・既存の別	既存					
課名	建築政策課		係名	建築係								
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了（期間を設定していない場合は空白）						
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成	26	年度	～	令和	4	年度
	施策項目	2. 住環境の充実				根拠法令等	行橋市耐震改修促進計画/建築基準法					
事業概要	【耐震改修・耐震シェルター等設置】昭和56年5月31日以前に着工した木造戸建て住宅の耐震診断に係る費用6,000円、耐震診断の結果、耐震性がない住宅を耐震改修する工事費の50%に相当する額（上限金額60万円）及び耐震シェルター・防災ベット設置費の46%に相当する額（上限金額30万円）を補助する。（H26～R4年度） 【ブロック塀等撤去】道路に面する高さが1メートル以上のブロック塀等で診断カルテで40点未満のもの撤去、又は、事業完了後に診断カルテで70点以上となるもの一部撤去に係る費用の50%に相当する額（上限金額10.9万円）を補助する。（R1～R2年度）					事業の性質（複数選択可）						
達成のめやす	令和4年度までに耐震化率90%を目標とする。（行橋市耐震改修促進計画） 令和2年度までに危険なブロック塀等をゼロにする。（建築基準法）					<input checked="" type="checkbox"/>	1 継続性のある事業					
留意事項						<input type="checkbox"/>	2 緊急性の高い事業					
						<input type="checkbox"/>	3 人口増加に寄与する事業					
期待する効果						<input type="checkbox"/>	4 住民サービス向上事業					
						<input checked="" type="checkbox"/>	5 防災関連事業					
数値目標 （事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標）	令和元年度		令和2年度		令和3年度		優先順位マトリックス（ハード事業のみ）					
	耐震5件/ブロック塀10件		耐震5件/ブロック塀20件		耐震5件		4					
年度の事業内訳	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと					予算計上の耐震改修補助及びブロック塀等撤去補助件数分の改修進める。						
	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業の位置づけ					
耐震診断費補助金(20件) 120千円		耐震診断費補助金(20件) 120千円		耐震診断費補助金(20件) 120千円		耐震診断・耐震改修を進めることにより耐震化率を向上させる。（目標90%）						
耐震改修工事費補助金(3件) 1,800千円		耐震改修工事費補助金(3件) 1,800千円		耐震改修工事費補助金(3件) 1,800千円		危険なブロック塀等を撤去することにより、地震に強い安全・安心なまちづくりを目指す。（この欄には事業全体の内容を記載のこと）						
耐震シェルター等設置補助金(2件) 600千円		耐震シェルター等設置補助金(2件) 600千円		耐震シェルター等設置補助金(2件) 600千円								
ブロック塀等撤去補助金(10件) 1,090千円		ブロック塀等撤去補助金(20件) 2,180千円		耐震シェルター等設置補助金(2件) 600千円								
事務費 59千円		事務費 59千円		事務費 59千円								
事業計画(事業費、単位:千円)												
令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業費						
財源内訳	国	1,090		1,580		600		6,870				
	県	1,490		1,780		1,200		11,700				
	地方債	0		0		0		0				
	負担金	0		0		0		0				
	その他	0		0		0		0				
	一般財源	1,089		1,399		779		7,831				
	合計	3,669		4,759		2,579		26,401				
予算費目	会計	一般会計			会計	費目名		土木費		費		
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備総合交付金		2400/2180		25.0%/45.0%		600/980		
				福岡県木造戸建て住宅耐震促進事業補助金		2400千円		50.0%		1200千円		
地方債		⇒	名称	福岡県ブロック塀等撤去促進事業補助金		2180		27.5%		580		
				対象事業費		千円		充当率(%)		充当予定額	千円	

事業番号	3250	事業名	市営住宅長寿命化改修事業			新規・既存の別	既存				
課名	建築政策課		係名	市営住宅係							
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了（期間を設定していない場合は空白）						
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成	28	年度	～	平成	33	年度
	施策項目	2. 住環境の充実			根拠法令等	公営住宅法/公営住宅等整備事業対象要綱					
事業概要	行橋市営住宅長寿命化計画に基づく外壁・屋根等改修事業。（H28～R3年度） 入居者の退去に伴い、耐用年数を経過した住宅の解体を行う。（H27年度～）				事業の性質（複数選択可）						
達成のめやす	平成28年度より事業着手し、一定の居住性や安全性が確保されている住宅について耐久性の向上、設備の改修を行う。 老朽化して危険な住宅を解体する。				<input checked="" type="checkbox"/>	1 継続性のある事業					
					<input type="checkbox"/>	2 緊急性の高い事業					
					<input type="checkbox"/>	3 人口増加に寄与する事業					
					<input checked="" type="checkbox"/>	4 住民サービス向上事業					
					<input checked="" type="checkbox"/>	5 防災関連事業					
					<input type="checkbox"/>	6 総合戦略対象事業					
					<input type="checkbox"/>	7 その他（ ）					
留意事項	市営住宅の耐用年限が経過する前に予防保全的な改修を行う。 防犯、安全対策のため早急に解体を完了させる。										
期待する効果	予防保全的な改修を行うことで、耐久性・防水性を高め建物の長寿命化を図る。 老朽化し安全性に問題のある住宅を解体することにより、安全性、防災性の向上をはかる。				優先順位マトリックス（ハード事業のみ）						
数値目標 （事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標							
	長寿命化94%/解体7%	長寿命化100%/解体9%	長寿命化100%/解体12%	100%							
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと			個別改善計画の総事業費190,811千円と終了分事業費により達成度を測る。 平成26年度策定長寿命化計画より用途廃止及び建替えに指定された家屋戸数(369戸)の除却により達成度を測る。							
年度の事業内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業の位置づけ							
	寺畔第2団地(3戸)、東大橋団地(3戸) 鳥井原第三団地(6戸)、福永第二団地(5戸) 福富団地(8戸)、桜町団地4号棟(30戸) 住宅解体(草野6戸) 長寿命化計画見直業務委託	今川団地改修(3戸) 4,800,000円 住宅解体(6戸) 3,600,000円 桜町団地送水ポンプ交換 4,512,000円	東大橋第2団地改修(6戸) 9,600,000円 住宅解体(6戸) 3,600,000円	長寿命化型改善の考え方にそって改修工事をおこない、 安全で快適な住まいを長期的に確保する。 老朽化した住宅を解体し、安全性、防災性の向上を図る。 (この欄には事業全体の内容を記載のこと)							
3											
財源内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業費							
	国	24,597	2,945	4,540	154,970						
	県	0	0	0	0						
	地方債	40,400	1,900	3,800	81,800						
	負担金	0	0	0	0						
	その他	0	0	0	0						
	一般財源	19,395	8,142	4,936	172,925						
	合計	84,392	12,987	13,276	409,695						
予算費目	会 計	一般会計		会 計	費目名	土木		費			
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備総合交付金	対象事業費	6,545 千円	補助率(%)	45.0%	補助予定額	2,945 千円	
地方債	あり	⇒	名称	公営住宅整備事業債	対象事業費	3,545 千円	充当率(%)	100.0%	充当予定額	1,950 千円	

事業番号	3293	事業名	空家対策事業			新規・既存の別	既存		
課名	環境課		係名	環境係					
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了（期間を設定していない場合は空白）				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			令和	年度	～	令和	年度
	施策項目	2. 住環境の充実			根拠法令等				
事業概要	適切な管理が行われていない空家等が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることからその対策を行う。 条例等に基づき、老朽危険家屋に対して除却費用の助成を行う。				事業の性質（複数選択可）				
達成のめやす	適切な管理が行われていない空家等の対策を行う。				<input checked="" type="radio"/> 1 継続性のある事業 <input type="radio"/> 2 緊急性の高い事業 <input type="radio"/> 3 人口増加に寄与する事業 <input type="radio"/> 4 住民サービス向上事業 <input type="radio"/> 5 防災関連事業 <input type="radio"/> 6 総合戦略対象事業 <input type="radio"/> 7 その他（ ）				
留意事項									
期待する効果	適切な管理が行われていない空家等の対策を行うことより、地域住民の生活環境の向上が図れる。				優先順位マトリックス（ハード事業のみ）				
数値目標 （事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標）	令和元年		令和2年		令和3年		最終目標		
	管理されていない空き家の対策		管理されていない空き家の対策		管理されていない空き家の対策		管理されていない空き家の対策		
右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと									
年度の事業内訳	令和元年		令和2年		令和3年		全体事業の位置づけ		
	老朽危険家屋除却助成金 老朽家屋 640件×0.1×0.1=6.4 老朽危険家屋(6件) 6件×300千円=1,800千円 老朽危険家屋解体費用 2,000千円×2件=4,000千円 事務費 456千円		老朽危険家屋除却助成金 老朽家屋 640件×0.1×0.1=6.4 老朽危険家屋(6件) 6件×300千円=1,800千円 老朽危険家屋解体費用 2,000千円×1件=2,000千円 事務費 460千円		老朽危険家屋除却助成金 老朽家屋 640件×0.1×0.1=6.4 老朽危険家屋(6件) 6件×300千円=1,800千円 老朽危険家屋解体費用 2,000千円×2件=4,000千円 事務費 456千円		(この欄には事業全体の内容を記載のこと)		
事業計画（事業費、単位：千円）									
財源内訳	令和元年		令和2年		令和3年		全体事業費		
	国	900	900	900	0	0	0	0	0
	県	0	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0
	負担金	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	5,356	3,360	5,356	0	0	0	0	0
合計	6,256	4,260	6,256	0	0	0	0	0	
予算費目	会 計	会 計		費 目 名	費				
補助金	⇒	名称	対象事業費		1,800 千円	補助率(%)	50.0%	補助予定額	900 千円
地方債	⇒	名称	対象事業費		0 千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0 千円

事業番号	3430	事業名	長浜公園整備事業			新規・既存の別	既存				
課名	都市政策課		係名	市街地整備係							
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了（期間を設定していない場合は空白）						
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成	30	年度	～	令和	3	年度
	施策項目	3. 公園の整備			根拠法令等	都市公園法					
事業概要	本市の都市公園は、現在、32箇所、29.72haで、人口1人当たりの面積は4.08㎡/人であり、福岡県平均8.35㎡と比較して公園が不足している状況です。本事業は、行事団地跡地を活用して本市の公園の不足解消を図ると共に行事北校区の防災・健康増進に寄与する新たな都市公園を整備するものです。				事業の性質（複数選択可）						
達成のめやす	公園の整備が完了すること。				<input type="checkbox"/> 1 継続性のある事業 <input type="checkbox"/> 2 緊急性の高い事業 <input type="checkbox"/> 3 人口増加に寄与する事業 <input checked="" type="checkbox"/> 4 住民サービス向上事業 <input checked="" type="checkbox"/> 5 防災関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> 6 総合戦略対象事業 <input type="checkbox"/> 7 その他（ ）						
留意事項											
期待する効果	都市公園面積の増加及び行事北校区の防災・健康増進に寄与				優先順位マトリックス（ハード事業のみ）						
数値目標 （事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標）	令和元年度		令和2年度		令和3年度		最終目標				
	10%		55%		100%		100%				
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと										
年度の事業内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業の位置づけ				
	実施設計		水路切回工事 開発造成工事 道路拡幅工事 電気設備工事		植栽工事 遊具設置工事 管理室建築工事		公園整備 (この欄には事業全体の内容を記載のこと)				
事業計画（事業費、単位：千円）											
		令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業費			
財源内訳	国	0		0		0		0			
	県	0		0		0		0			
	地方債	0		0		0		0			
	負担金	0		0		0		0			
	その他	0		150,000		0		150,000			
	一般財源	409		57,446		100,300		191,218			
	合計	409		207,446		100,300		341,218			
予算費目	会 計	一般会計			会 計	費目名	土木		費		
補助金	なし	⇒	名称		対象事業費	0千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0千円	
地方債	なし	⇒	名称		対象事業費	0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円	

事業番号	3584	事業名	長井浜公園維持管理事業			新規・既存の別	新規
課名	都市政策課		係名	市街地整備係			
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了（期間を設定していない場合は空白）		
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			令和 2 年度	～ 令和 2 年度	
	施策項目	3. 公園の整備			根拠法令等		
事業概要	本市の都市公園は、現在、32箇所、29.72haで、人口1人当たりの面積は4.08㎡/人であり、福岡県平均8.35㎡と比較して公園が不足している状況です。本事業は、本市の公園不足の解消及び海岸地域での観光振興及びスポーツイベントにも寄与するよう海岸地域に新たに整備した都市公園（長井浜公園）の柿落イベントを執り行うものです。				事業の性質（複数選択可）		
達成のめやす	4月から6月まで維持管理を行い、指定管理者に引き渡す				<input checked="" type="checkbox"/> 1 継続性のある事業 <input type="checkbox"/> 2 緊急性の高い事業 <input type="checkbox"/> 3 人口増加に寄与する事業 <input type="checkbox"/> 4 住民サービス向上事業 <input type="checkbox"/> 5 防災関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> 6 総合戦略対象事業 <input type="checkbox"/> 7 その他（ ）		
留意事項					優先順位マトリックス（ハード事業のみ）		
期待する効果	長井浜公園供用開始までの維持管理				3		
数値目標 （事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標			
		100%		100%			
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと						
年度の事業内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業の位置づけ			
		維持管理		維持管理 （この欄には事業全体の内容を記載のこと）			
事業計画（事業費、単位：千円）							
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業費			
財源内訳	国	0	0	0	0		
	県	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	負担金	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	588	0	588		
	合計	0	588	0	588		
予算費目	会計	一般会計		会計	費目名	土木	
補助金	あり	⇒	名称	対象事業費	千円	補助率（%）	
地方債	なし	⇒	名称	対象事業費	千円	充当率（%）	
						補助予定額 千円	
						充当予定額 千円	

事業番号	3585	事業名	長井浜公園誘導板設置事業			新規・既存の別	新規	
課名	都市政策課		係名	市街地整備係				
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了（期間を設定していない場合は空白）			
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			令和 2 年度	～ 令和 2 年度		
	施策項目	3. 公園の整備			根拠法令等			
事業概要	本市の都市公園は、現在、32箇所、29.72haで、人口1人当たりの面積は4.08㎡/人であり、福岡県平均8.35㎡と比較して公園が不足している状況です。本事業は、本市の公園不足の解消及び海岸地域での観光振興及びスポーツイベントにも寄与するよう海岸地域に新たに整備した都市公園（長井浜公園）の柿落イベントを執り行うものです。				事業の性質（複数選択可）			
達成のめやす	長井浜公園への誘導板設置				<input type="checkbox"/>	1 継続性のある事業		
留意事項					<input checked="" type="checkbox"/>	2 緊急性の高い事業		
					<input type="checkbox"/>	3 人口増加に寄与する事業		
期待する効果	長井浜公園までの道のりがわかりやすくなり、施設の利用向上に寄与する。				<input type="checkbox"/>	4 住民サービス向上事業		
					<input type="checkbox"/>	5 防災関連事業		
数値目標 （事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標）	令和元年度		令和2年度		令和3年度		優先順位マトリックス（ハード事業のみ）	
			100%				最終目標 100%	
年度の事業内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業の位置づけ	
			誘導板設置				長井浜公園誘導板設置 (この欄には事業全体の内容を記載のこと)	
事業計画（事業費、単位：千円）								
財源内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業費	
	国	0	0	0	0	0		
	県	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	負担金	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	0	400	0	0	400		
	合計	0	400	0	0	400		
予算費目	会計	一般会計		会計	費目名	土木	費	
補助金	あり	⇒	名称	対象事業費	千円	補助率(%)	補助予定額	千円
地方債	なし	⇒	名称	対象事業費	千円	充当率(%)	充当予定額	千円

事業番号	2935	事業名	社会資本整備総合交付金事業(公園施設長寿命化対策支援事業)			新規・既存の別	既存				
課名	土木課		係名	公園・道路維持係							
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)						
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成	26	年度	～	令和	5	年度
	施策項目	3. 公園の整備			根拠法令等	都市公園法					
事業概要	公園施設長寿命化対策支援事業とは、大地震に備えた市街地の防災性の向上や、公園施設の戦略的な機能確保・向上対策による安全性の確保等、都市公園における総合的な安全・安心対策事業を緊急かつ計画的に実施し、子供や高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる都市公園の整備を行うことを目的とする。平成25年度に行橋市公園施設長寿命化計画に基づいて事業を推進する。				事業の性質（複数選択可）						
達成のめやす	平成26年度より令和5年度までの10年間で事業を行う。				●	1 継続性のある事業					
留意事項	行橋総合公園内における教育委員会所管の施設については、連携を図り事業を行う。					2 緊急性の高い事業					
						3 人口増加に寄与する事業					
期待する効果	施設維持管理予算の縮減や平準化を図りつつ、都市公園の改築・更新を行うことにより、安全性、防災性、バリアフリー化等の向上が期待できる。				●	4 住民サービス向上事業					
						5 防災関連事業					
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度		令和2年度		令和3年度		優先順位マトリックス(ハード事業のみ)				
			進捗率59%		進捗率68%		2				
年度の事業内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		最終目標				
	・都市公園(1公園) 休養施設 N=1箇所		・都市公園(5公園) 遊戯施設 N=13基 休養施設 N=12箇所		・都市公園長寿命化計画作成委託 ・都市公園(2公園) 遊戯施設 N=2基		全体事業の位置づけ ・事業対象都市公園(32公園) ・事業対象施設(25公園 307施設) (この欄には事業全体の内容を記載のこと)				
事業計画(事業費、単位:千円)											
財源内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業費				
	国	16,000	22,000		22,000		108,000				
	県	0	0		0		0				
	地方債	14,400	19,800		19,800		97,200				
	負担金	0	0		0		0				
	その他	0	0		0		0				
	一般財源	4,180	3,200		3,200		11,800				
	合計	34,580	45,000		45,000		217,000				
予算費目	会計	会計		費目名	費						
補助金	なし	⇒	名称	社会資本整備総合交付金事業	対象事業費	44,000 千円	補助率(%)	50.0%	補助予定額	22,000 千円	
地方債	なし	⇒	名称	公共事業等債	対象事業費	22,000 千円	充当率(%)	90.0%	充当予定額	19,800 千円	

事業番号	2169	事業名	児童遊園施設補修工事費			新規・既存の別	既存				
課名	土木課		係名	公園・道路維持係							
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了（期間を設定していない場合は空白）					
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成	26	年度	～	令和	年度
	施策項目	4. 景観・自然環境の保全				根拠法令等	都市公園法				
事業概要	市内の児童遊園165箇所内、遊具設置遊園(116箇所、407施設)について安全点検(平成30年度に実施)に基づき危険判定施設より撤去または更新を行い、利用者が安心して利用できる公園環境づくりを行うもの。また、危険遊具の撤去後に地元より遊具の再設置要望もあるため、遊具の更新についても検討していく。将来的には遊具を減少させ維持費用のコスト縮減を計る。また必要最低限の施設を把握することにより利用価値の高いものにしていくものである。					事業の性質（複数選択可）					
達成のめやす	児童遊園内での事故発生の未然防止、利用者が安心して利用できる公園施設の実現。					●	1 継続性のある事業				
留意事項							2 緊急性の高い事業				
							3 人口増加に寄与する事業				
期待する効果	安全点検を実施し、危険と診断された遊具を撤去および更新することにより、安全な公園環境づくりが実現できる。					●	4 住民サービス向上事業				
							5 防災関連事業				
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度		令和2年度		令和3年度		優先順位マトリックス（ハード事業のみ）				
	事故件数 0件		事故件数 0件		事故件数 0件		2				
右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと		児童遊園内での事故件数を0とすること。									
年度の事業内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業の位置づけ				
	遊具撤去工事(C判定) 10基 * 100,000=1,000,000円		遊具撤去工事(C判定) 5基 * 100,000=500,000円 遊具施設更新工事 3基 * 1,000,000=3,000,000円		遊具撤去工事(C判定) 5基 * 100,000=500,000円 遊具施設更新工事 3基 * 1,000,000=3,000,000円		遊具1基あたり10万円の撤去費計上。4年に1度で遊具の安全点検を実施。(以前はH26,30年度)開発行為により、児童遊園数は増加する。また期間設定できる事業ではないため全体事業費の見積不能。 (この欄には事業全体の内容を記載のこと)				
事業計画(事業費、単位:千円)											
財源内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業費				
	国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	1,000	3,500	3,500	3,500	3,500	0	0	0	0	
	合計	1,000	3,500	3,500	3,500	3,500	0	0	0	0	
予算費目	会 計	会 計		費目名	費						
補助金	なし	⇒	名称	対象事業費	0千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0千円		
地方債	なし	⇒	名称	対象事業費	0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円		

事業番号	事業名 街路樹維持管理事業				新規・既存の別	新規			
課名	土木課		係名	公園・道路維持係					
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了（期間を設定していない場合は空白）				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			令和 2 年度	～	令和 年度		
	施策項目	4. 景観・自然環境の保全			根拠法令等				
事業概要	本事業は街路樹において、すでに枯損した樹木を植樹し毎年適切な維持管理を行うものです。				事業の性質（複数選択可）				
達成のめやす					<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業			
					<input checked="" type="radio"/>	2 緊急性の高い事業			
留意事項					<input type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業			
					<input checked="" type="radio"/>	4 住民サービス向上事業			
期待する効果	街路樹を維持管理することで歩道の安全性・快適性を確保する。				<input type="radio"/>	5 防災関連事業			
					<input type="radio"/>	6 総合戦略対象事業			
数値目標 （事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標）	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと				<input type="radio"/>	7 その他（ ）			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標	優先順位マトリックス（ハード事業のみ）				
年度の事業内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業の位置づけ	2				
		枯損木の植樹 N=25本 24本*80,000円=1,920,000円（ハナミズキ） 1本*3,000,000円=3,000,000円（楠木） 樹木の維持管理 N=1,000本 1,000本*10,000円=10,000,000円 （剪定、防除、施肥）	樹木の維持管理 N=1,000本 1,000本*10,000円=10,000,000円	樹木 N=1,000本	（この欄には事業全体の内容を記載のこと）				
事業計画（事業費、単位：千円）									
財源内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業費					
	国	0	0	0	0				
	県	0	0	0	0				
	地方債	0	0	0	0				
	負担金	0	0	0	0				
	その他	0	0	0	0				
	一般財源	0	14,920	10,000	0				
	合計	0	14,920	10,000	0				
予算費目	会計	会計	費目名	費					
補助金	なし	⇒	名称	対象事業費	0千円	補助率（%）	0.0%	補助予定額	0千円
地方債	なし	⇒	名称	対象事業費	0千円	充当率（%）	0.0%	充当予定額	0千円

事業番号	2242	事業名	火葬場施設設備工事			新規・既存の別	既存		
課名	環境課		係名	環境係					
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了（期間を設定していない場合は空白）				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			令和	年度	～	令和	年度
	施策項目	4. 景観・自然環境の保全			根拠法令等				
事業概要	施設の延命化を図る改修工事を行うとともに、炉を1基増設し、近年の火葬件数の増加等に対応するものです。				事業の性質（複数選択可）				
達成のめやす	火葬場を延命するとともに、近年の火葬件数の増加等に対応するもの				<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業			
					<input checked="" type="radio"/>	2 緊急性の高い事業			
留意事項					<input type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業			
					<input checked="" type="radio"/>	4 住民サービス向上事業			
期待する効果	火葬場を延命するとともに、規格の異なる1号炉運転中に不測の事態が生じた際に互換性が確保できる。				<input type="radio"/>	5 防災関連事業			
					<input type="radio"/>	6 総合戦略対象事業			
数値目標 （事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標）	令和元年		令和2年		令和3年		優先順位マトリックス（ハード事業のみ）		
	火葬場を延命する		火葬場を延命する		火葬場を延命する		5		
年度の事業内訳	令和元年		令和2年		令和3年		最終目標		
	2・4号炉セラミック張替工事【2,200,000】		5号炉新設工事【44,820,000】 1・3号炉セラミック張替工事【2,200,000】 待合ホール備品購入（パテーション他）【2,149,400】		2・4号炉セラミック張替工事【2,200,000】		全体事業の位置づけ		
事業計画（事業費、単位：千円）									
財源内訳	令和元年		令和2年		令和3年		全体事業費		
	国	0	0	0	0	0	0	0	0
	県	0	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0
	負担金	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	2,200	49,170	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200
	合計	2,200	49,170	49,170	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200
予算費目	会計	会計	費目名	費					
補助金	⇒	名称	対象事業費	0千円	補助率（%）	0.0%	補助予定額	0千円	
地方債	⇒	名称	対象事業費	0千円	充当率（%）	0.0%	充当予定額	0千円	

事業番号	2252	事業名	環境対策事業			新規・既存の別	新規				
課名	環境課		係名	環境係							
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了（期間を設定していない場合は空白）						
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			令和	2	年度	～	令和	16	年度
	施策項目	4. 景観・自然環境の保全			根拠法令等						
事業概要	樺市地区地下水水質検査業務				事業の性質（複数選択可）						
達成のめやす	検査結果が基準値内であること。				<input checked="" type="checkbox"/>	1 継続性のある事業					
					<input checked="" type="checkbox"/>	2 緊急性の高い事業					
					<input type="checkbox"/>	3 人口増加に寄与する事業					
					<input type="checkbox"/>	4 住民サービス向上事業					
					<input type="checkbox"/>	5 防災関連事業					
					<input type="checkbox"/>	6 総合戦略対象事業					
					<input type="checkbox"/>	7 その他（ ）					
留意事項											
期待する効果	地域住民の安心・安全				優先順位マトリックス（ハード事業のみ）						
数値目標 （事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標）	令和元年	令和2年		令和3年		最終目標					
		井戸水検査を行う		井戸水検査を行う							
年度の事業内訳	令和元年	令和2年		令和3年		全体事業の位置づけ					
		地下水項目27項目 188,400円 飲料水項目11項目 6,500円 小計 194,900円 194,900円×3箇所=584,700円 採水経費 4,800円 合計 589,500円 税 58,950円 総合計 648,450円	地下水項目27項目 188,400円 飲料水項目11項目 6,500円 小計 194,900円 194,900円×4箇所=779,600円 採水経費 6,400円 合計 786,000円 税 78,600円 総合計 864,600円	(この欄には事業全体の内容を記載のこと)							
事業計画（事業費、単位：千円）											
財源内訳	令和元年	令和2年		令和3年		全体事業費					
	国	0	0	0	0	0	0	0	0		
	県	0	0	0	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0		
	負担金	0	0	0	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	0	649	865	0	0	0	0	0		
	合計	0	649	865	0	0	0	0	0		
予算費目	会計	会計	費目名	費							
補助金	⇒	名称	対象事業費	千円	補助率(%)		補助予定額	45,000	千円		
地方債	⇒	名称	対象事業費	0	千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0	千円	

事業番号	2245	事業名	環境美化運動			新規・既存の別	既存			
課名	環境課		係名	環境係						
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了（期間を設定していない場合は空白）				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				令和	年度	～	令和	年度
	施策項目	4. 景観・自然環境の保全				根拠法令等				
事業概要	市有地草刈業務					事業の性質（複数選択可）				
						<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業			
						<input type="radio"/>	2 緊急性の高い事業			
						<input type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業			
達成のめやす	4月から11月の期間に2回草刈業務を行う					<input type="radio"/>	4 住民サービス向上事業			
						<input type="radio"/>	5 防災関連事業			
留意事項						<input type="radio"/>	6 総合戦略対象事業			
						<input type="radio"/>	7 その他（ ）			
期待する効果	繁茂した雑草を刈り取ることにより、生活環境の改善が図れる。					優先順位マトリックス（ハード事業のみ）				
数値目標 （事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標）	令和元年		令和2年		令和3年		最終目標			
	市有地の草刈りを行い環境を改善する		市有地の草刈りを行い環境を改善する		市有地の草刈りを行い環境を改善する					
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと									
年度の事業内訳	令和元年		令和2年		令和3年		全体事業の位置づけ			
	延べ179,602㎡×25.63円 ≒4,603千円		延べ206,068㎡×40.63円 ≒8,373千円 乗用草刈機購入 1,232千円		延べ206,068㎡×40.63円 ≒8,373千円					
							(この欄には事業全体の内容を記載のこと)			
事業計画（事業費、単位：千円）										
		令和元年		令和2年		令和3年		全体事業費		
財源内訳	国	0		900		0		0		
	県	0		0		0		0		
	地方債	0		0		0		0		
	負担金	0		0		0		0		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	4,603		8,705		8,373		0		
	合計	4,603		9,605		8,373		0		
予算費目	会計	会計		費目名	費					
補助金	あり	⇒	名称	再編交付金	対象事業費	900千円	補助率(%)	100.0%	補助予定額	900千円
地方債		⇒	名称		対象事業費	0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円

事業番号	事業名 道路維持工事費				新規・既存の別	新規
課名	土木課	係名	公園・道路維持係			
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)	
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			令和 2 年度	～ 令和 6 年度
	施策項目	5. 道路の整備			根拠法令等	
事業概要	本事業は過去の要望案件を整備し安心・安全な街づくりを行うものである。 道路維持工事 N=3件 4,000,000円				事業の性質（複数選択可）	
達成のめやす					<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業
留意事項					<input type="radio"/>	2 緊急性の高い事業
					<input checked="" type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業
					<input checked="" type="radio"/>	4 住民サービス向上事業
期待する効果	要望案件を整備することで安全性・快適性を確保する。				優先順位マトリックス（ハード事業のみ）	
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標		
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと					
年度の事業内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業の位置づけ		
		要望案件 N=3件	要望案件 N=19件	要望案件 N=95件		
(この欄には事業全体の内容を記載のこと)						
事業計画(事業費、単位:千円)						
財源内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業費		
	国	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	負担金	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	0	4,000	20,000	103,000	
	合計	0	4,000	20,000	103,000	
予算費目	会計	会計	費目名	費		
補助金	なし	⇒	名称	対象事業費	0千円	補助率(%) 0.0%
地方債	なし	⇒	名称	対象事業費	0千円	充当率(%) 0.0%
						補助予定額 0千円
						充当予定額 0千円

事業番号	3513	事業名	道路舗装工事(大橋二丁目・寅新地線)公共施設等管理推進事業債			新規・既存の別	既存		
課名	土木課		係名	土木係					
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成	31	年度 ~ 令和 25 年度		
	施策項目	5. 道路の整備			根拠法令等				
事業概要	舗装修繕:58路線 ①大橋二丁目・寅新地線:本路線は主要地方道直方・行橋線と国道10号バイパスを結び、北九州市や苅田町から行橋市中心部へとアクセスする重要な路線である。工事長L=970m A=5,626㎡ ②駅西大通り線:行橋駅西口と安川通りを結び、多くの住民が通勤・通学を利用する重要な路線である。工事長L=270m×2 A=4,050㎡(歩道部)				事業の性質(複数選択可)				
達成のめやす	①路線の舗装修繕は令和2年度完了予定である。 ②路線の舗装修繕は令和3年度完了予定である。				● 1 継続性のある事業 2 緊急性の高い事業 3 人口増加に寄与する事業 4 住民サービス向上事業 5 防災関連事業 6 総合戦略対象事業 7 その他()				
留意事項	平成29年度までは、舗装修繕(アスファルト表層のみ打換等)を社会資本整備総合交付金事業の交付金を活用することができたが、平成30年度からは路床からの全面的な改良が認められなくなった。また、社会資本でのこの事業の内示率が極端に悪く、交付金を活用することが難しい状況である。そのため、公共施設等管理推進事業債を活用し、舗装修繕事業を行いたい。						優先順位マトリックス(ハード事業のみ)		
期待する効果	平成26年度に行った道路ストック総点検により得られた評価をもとに効率的・効果的な舗装修繕を計画的に実施することで、コストの平準化を図り、道路網の安全性・信頼性を確保する。				2				
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度		令和2年度		令和3年度		最終目標		
	1路線		2路線(計3路線修繕完了)		2路線(計5路線修繕完了)		58路線修繕完了		
右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと									
年度の事業内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業の位置づけ		
	道路舗装:L=810m、A=5,751㎡		道路舗装①:L=810m、A=5,752㎡ 歩道舗装②:L=270m、A=2,025㎡		道路舗装①:L=270m、A=1,620㎡ 歩道舗装②:L=270m、A=2,025㎡		道路舗装:L=82,000m、A=497,102㎡ 路線数:58路線 (この欄には事業全体の内容を記載のこと)		
事業計画(事業費、単位:千円)									
		令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業費	
財源内訳	国	0		0		0		0	
	県	0		0		0		0	
	地方債	22,500		22,500		22,500		518,200	
	負担金	0		0		0		0	
	その他	0		0		0		0	
	一般財源	3,100		3,100		3,100		73,800	
	合計	25,600		25,600		25,600		592,000	
予算費目	会計	一般		会計	土木		費		
補助金	なし	⇒	名称	対象事業費	千円	補助率(%)	補助予定額	0千円	
地方債	あり	⇒	名称	公共施設等管理推進事業債	25,000千円	充当率(%)	90.0%	充当予定額	22,500千円

事業番号	3494	事業名	市道整備計画作成事業			新規・既存の別	既存				
課名	土木課		係名	土木係							
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)						
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			令和	2	年度	～	令和	3	年度
	施策項目	5. 道路の整備			根拠法令等						
事業概要	本市が管理する市道は2,236路線(1級:25路線、2級:38路線、その他:2,173路線)となっており、具体的な整備計画は策定されておらず、地域住民からの要望を受けての陳情事業が基礎となっている。今回市道路線の各種別の見直しを行い適正化を図った後、道路の整備計画を策定し、今後の維持管理の在り方やメンテナンスサイクル構築を検討し、総合計画のインフラ整備プロジェクトに基づく道路整備を実施するためのもの。					事業の性質（複数選択可）					
達成のめやす						●	1 継続性のある事業				
留意事項							2 緊急性の高い事業				
							3 人口増加に寄与する事業				
						●	4 住民サービス向上事業				
期待する効果	人・物の流動性の向上、暮らし・安全を支える交通ネットワークの形成。					優先順位マトリックス（ハード事業のみ）					
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度		令和2年度		令和3年度		最終目標				
			50%		100%		100%				
右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと											
年度の事業内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業の位置づけ				
			市道路線見直し(各種別)適正化業務(基礎資料作成) 1級市道:25路線(36195.3m) 2級市道:38路線(45092.3m) その他:2,173路線(489,605m)		市道整備計画策定業務委託:一式		市道路線の見直しを行い、整備計画を策定する。 (この欄には事業全体の内容を記載のこと)				
事業計画(事業費、単位:千円)											
		令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業費			
財源内訳	国	0		0		0		0			
	県	0		0		0		0			
	地方債	0		0		0		0			
	負担金	0		0		0		0			
	その他	0		0		0		0			
	一般財源	0		1,600		15,000		0			
	合計	0		1,600		15,000		0			
予算費目	会計	一般			会計	費目名		土木			
補助金	なし	⇒	名称		対象事業費	0千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0千円	
地方債	なし	⇒	名称		対象事業費	0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円	

事業番号	2370	事業名	社会資本整備総合交付金事業(前田・綿打線)			新規・既存の別	既存			
課名	土木課		係名	土木係						
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)					
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成 27 年度	～	令和 9 年度			
	施策項目	5. 道路の整備			根拠法令等					
事業概要	本路線は国道496号と県道 長尾稗田平島線を結ぶ路線であり、交通量に対して幅員が狭く離合も困難であり、また通学路でもあるため、現道拡幅することにより、1車線から2車線に整備し歩道を設置する。(4種2級) 工事長L=330m W=12.5m(車道W=7.0m、歩道W=3.5m、2.0m)				事業の性質(複数選択可)					
達成のめやす					●	1 継続性のある事業				
留意事項	社会資本整備総合交付金事業の本パッケージについては、平成29年度の内示率が悪いいため、他事業との調整が必要となる。平成30年度からは別パッケージで施工。					2 緊急性の高い事業				
						3 人口増加に寄与する事業				
期待する効果	本路線は泉小学校に向かう通学路になっており、歩道が未設置であり車道部も幅員が狭く、歩行者の安全性が危惧されているため、道路拡幅工事を行うことにより、人口が増加する泉地区の交通需要に対応するとともに、安全な歩行空間の創出に寄与できる。					4 住民サービス向上事業				
						5 防災関連事業				
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	優先順位マトリックス(ハード事業のみ)						
	20%	26%	37%	3			最終目標			
年度の事業内訳	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと									
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業の位置づけ						
	交差点設計一式 物件調査一式 用地買収:A=194㎡(6筆) 物件補償:N=1件 歩道設置工事:L=100m	用地測量一式 物件調査一式 用地買収:A=80㎡(2筆) 物件補償:N=1件 改良工事:L=100m	用地買収:A=167㎡(2筆) 物件補償:N=2件	測量設計:一式 用地買収:A=2,500㎡(17筆) 物件補償:N=13件 改良工事:L=330m (この欄には事業全体の内容を記載のこと)						
事業計画(事業費、単位:千円)										
財源内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業費						
	国	44,824	49,445	52,250	623,792					
	県	0	0	0	0					
	地方債	33,000	36,400	38,400	458,700					
	負担金	0	0	0	0					
	その他	0	0	0	0					
	一般財源	5,975	6,055	6,950	81,985					
	合計	83,799	91,900	97,600	1,164,477					
予算費目	会計	一般	会計	費目名	土木	費				
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備総合交付金事業	対象事業費	92,000 千円	補助率(%)	55.0%	補助予定額	50,600 千円
地方債	あり	⇒	名称	公共事業等債	対象事業費	41,400 千円	充当率(%)	90.0%	充当予定額	37,200 千円

事業番号	2370	事業名	社会資本整備総合交付金事業(宮市橋)			新規・既存の別	既存			
課名	土木課		係名	土木係						
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)					
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成 30 年度	～	令和 3 年度			
	施策項目	5. 道路の整備			根拠法令等					
事業概要	市道 西宮市1号線は、行橋市の玄関口である行橋駅のメインストリートであり、行橋市立行橋小学校の通学路に指定されているが、宮市橋のみ歩道が未設置であり、歩行者の安全性が危惧されている。そこで、宮市橋の拡幅を行うことにより、安全な歩行空間の創出と地域住民の安全安心かつ快適な交通環境の確保を図るものである。 工事長L=30m W=8.5m(車道W=6.0m、歩道W=2.5m)				事業の性質（複数選択可）					
達成のめやす					<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業				
留意事項					<input type="radio"/>	2 緊急性の高い事業				
					<input type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業				
期待する効果	通学路の交通安全を確保するために、道路管理者、教育委員会と警察等関係機関で合同点検を行い、安全性の確保が求められる箇所に対して整備を行い、学童の安全確保が期待できる。				優先順位マトリックス（ハード事業のみ）					
					3					
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標						
	34%	68%	100%	100%						
右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと										
年度の事業内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業の位置づけ						
	歩道橋下部工(右岸側):一式	歩道橋下部工(左岸側):一式	歩道橋上部工:L=30m	測量設計:1橋 歩道橋設置:L=30m (この欄には事業全体の内容を記載のこと)						
事業計画(事業費、単位:千円)										
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業費					
財源内訳	国	15,950	23,870	22,000	68,365					
	県	0	0	0	0					
	地方債	11,700	17,500	16,200	50,200					
	負担金	0	0	0	0					
	その他	0	0	0	0					
	一般財源	2,075	4,330	3,900	11,584					
	合計	29,725	45,700	42,100	130,149					
予算費目	会計	一般	会計	費目名	土木	費				
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備総合交付金事業	対象事業費	41,300 千円	補助率(%)	55.0%	補助予定額	22,715 千円
地方債	あり	⇒	名称	公共事業等債	対象事業費	18,585 千円	充当率(%)	90.0%	充当予定額	16,700 千円

事業番号	3408	事業名	再編関連訓練移転等交付金事業(前田川)			新規・既存の別	既存			
課名	土木課		係名	土木係						
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)					
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成 22 年度	～	令和 10 年度			
	施策項目	5. 道路の整備			根拠法令等					
事業概要	排水路整備事業 L=1,140m(河川幅W=8.3(7.0)m、河床幅W=6.0(5.3)m、高さH=2.3(1.7)m)				事業の性質(複数選択可)					
達成のめやす					<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業				
留意事項	冠水対策であり、緊急性は高いが、他事業との調整が必要である。				<input type="radio"/>	2 緊急性の高い事業				
					<input type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業				
期待する効果	排水路を整備することにより冠水対策となり、周辺住民の生活環境の改善が期待される。				<input type="radio"/>	4 住民サービス向上事業				
					<input checked="" type="radio"/>	5 防災関連事業				
					<input type="radio"/>	6 総合戦略対象事業				
					<input type="radio"/>	7 その他()				
					優先順位マトリックス(ハード事業のみ)					
					3					
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標						
	66%	73%	81%	100%						
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと									
年度の事業内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業の位置づけ						
	修正測量設計:一式 河川改修工事:L=80m 用地補償:N=1件	物件調査:一式 河川改修工事:L=130m	用地補償:N=1件 河川改修工事:L=80m	測量設計:一式、物件調査:一式 河川改修工事:L=1140m(橋梁9橋) 用地買収:A=8843㎡(70筆) 物件補償:N=9件 (この欄には事業全体の内容を記載のこと)						
事業計画(事業費、単位:千円)										
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業費						
財源内訳	国	67,300	78,200	68,800	925,105					
	県	0	0	0	0					
	地方債	0	0	0	0					
	負担金	0	0	0	0					
	その他	0	0	0	0					
	一般財源	3,300	3,900	3,900	41,124					
	合計	70,600	82,100	72,700	966,229					
予算費目	会計	一般	会計	費目名	土木	費				
補助金	あり	⇒	名称	再編関連訓練移転等交付金	対象事業費	78,200 千円	補助率(%)	100.0%	補助予定額	78,200 千円
地方債	なし	⇒	名称		対象事業費	0 千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0 千円

事業番号	3408	事業名	再編関連訓練移転等交付金事業(長野間川)			新規・既存の別	既存			
課名	土木課		係名	土木係						
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)					
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成 22 年度	～	令和 6 年度			
	施策項目	5. 道路の整備			根拠法令等					
事業概要	排水路整備事業 L=600m(河川幅W=12.3m、河床幅W=9.1m、高さH=3.2m)				事業の性質(複数選択可)					
達成のめやす					<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業				
留意事項	冠水対策であり、緊急性は高いが、他事業との調整が必要である。				<input type="radio"/>	2 緊急性の高い事業				
					<input type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業				
期待する効果	排水路を整備することにより冠水対策となり、周辺住民の生活環境の改善が期待される。				<input type="radio"/>	4 住民サービス向上事業				
					<input checked="" type="radio"/>	5 防災関連事業				
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	優先順位マトリックス(ハード事業のみ)						
	66%	73%	81%	4						
年度の事業内訳	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと			最終目標			100%			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業の位置づけ						
		河川改修工事:L=33m	河川改修工事:L=50m	測量設計:一式 河川改修工事:L=600m 用地買収:A=1883㎡(22筆)						
(この欄には事業全体の内容を記載のこと)										
事業計画(事業費、単位:千円)										
財源内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業費						
	国	0	22,000	30,900	364,016					
	県	0	0	0	0					
	地方債	0	0	0	0					
	負担金	0	0	0	0					
	その他	0	0	0	0					
	一般財源	0	2,700	2,800	13,748					
	合計	0	24,700	33,700	377,764					
予算費目	会計	一般	会計	費目名	土木	費				
補助金	あり	⇒	名称	再編関連訓練移転等交付金	対象事業費	22,000 千円	補助率(%)	100.0%	補助予定額	22,000 千円
地方債	なし	⇒	名称		対象事業費	0 千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0 千円

事業番号	3408	事業名	再編関連訓練移転等交付金事業(新田原駅周辺道路改良事業)			新規・既存の別	既存			
課名	土木課		係名	土木係						
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)					
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成 30 年度	～	令和 6 年度			
	施策項目	5. 道路の整備			根拠法令等					
事業概要	新田原周辺道路改良事業:L=70m				事業の性質(複数選択可)					
達成のめやす					<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業				
					<input type="radio"/>	2 緊急性の高い事業				
留意事項	基本設計作成後、地元協議が必要となり、構外移転もあると思われるので、交渉が困難となる可能性がある。				<input type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業				
					<input checked="" type="radio"/>	4 住民サービス向上事業				
期待する効果	新田原駅は通勤通学時に利用者が多いが、車道・歩道・駐車場の区切り線がなく事故の危険性があるため、道路整備を実施し交通安全の向上を期待するものである。				優先順位マトリックス(ハード事業のみ)					
					4					
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標						
	5%	9%	26%	100%						
右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと										
年度の事業内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業の位置づけ						
	(債務負担) 測量設計:一式	物件調査:一式	用地・補償:1件	測量設計:一式 用地・補償:4件 道路改良工事:L=70m 転回場所整備:一式 (この欄には事業全体の内容を記載のこと)						
事業計画(事業費、単位:千円)										
令和元年度							令和2年度	令和3年度	全体事業費	
財源内訳	国	0	5,600	44,300	255,656					
	県	0	0	0	0					
	地方債	0	0	0	0					
	負担金	0	0	0	0					
	その他	0	0	0	0					
	一般財源	8,531	400	800	6,200					
	合計	8,531	6,000	45,100	261,856					
予算費目	会計	一般	会計	費目名	土木	費				
補助金	あり	⇒	名称	再編関連訓練移転等交付金	対象事業費	5,600 千円	補助率(%)	100.0%	補助予定額	5,600 千円
地方債	なし	⇒	名称		対象事業費	0 千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0 千円

事業番号	2370	事業名	社会資本整備総合交付金事業(文久・上新地線)			新規・既存の別	既存			
課名	土木課		係名	土木係						
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)					
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成 22 年度	～	令和 10 年度			
	施策項目	5. 道路の整備			根拠法令等					
事業概要	県道 門司・行橋線関連道路新設改良工事(3種2級) 工事長L=1,120m W=10.5m(車道W=8.0m、歩道W=2.5m)				事業の性質(複数選択可)					
達成のめやす					<input checked="" type="checkbox"/> 1 継続性のある事業 <input type="checkbox"/> 2 緊急性の高い事業 <input type="checkbox"/> 3 人口増加に寄与する事業 <input type="checkbox"/> 4 住民サービス向上事業 <input type="checkbox"/> 5 防災関連事業 <input type="checkbox"/> 6 総合戦略対象事業 <input type="checkbox"/> 7 その他()					
留意事項	本路線は県道と接道するものであり、県と連携をとりながら事業を進める必要あり。									
期待する効果	本路線は、北九州空港周辺の工業地帯と市内の稲重工業団地を結ぶ路線であり、当該箇所を拡幅することにより、大型車の通行が容易になり工業団地の部品メーカーから工業地帯への物流の強化、円滑化が図られ「北部九州自動車150万台生産拠点」の推進に寄与する。				優先順位マトリックス(ハード事業のみ)					
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標						
	30%	35%	40%	100%						
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと									
年度の事業内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業の位置づけ						
	測量設計:一式 改良工事:L=100m	用地買収:A=841㎡(1筆) 改良工事:L=100m	改良工事:L=80m	測量設計:一式 用地買収:A=11,381㎡(46筆) 物件補償:N=4件 改良工事:L=1,120m (この欄には事業全体の内容を記載のこと)						
事業計画(事業費、単位:千円)										
財源内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業費						
	国	21,300	25,000	20,000	510,391					
	県	0	0	0	0					
	地方債	19,100	22,500	18,000	437,100					
	負担金	0	0	0	0					
	その他	0	0	0	0					
	一般財源	5,100	5,400	5,000	84,299					
	合計	45,500	52,900	43,000	1,031,790					
予算費目	会計	一般	会計	費目名	土木	費				
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備総合交付金事業	対象事業費	50,000 千円	補助率(%)	50.0%	補助予定額	25,000 千円
地方債	あり	⇒	名称	公共事業等債	対象事業費	25,000 千円	充当率(%)	90.0%	充当予定額	22,500 千円

事業番号	2370	事業名	社会資本整備総合交付金事業(出店・新地線ほか2路線)			新規・既存の別	既存					
課名	土木課		係名	土木係								
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)						
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成	28	年度	～	令和	5	年度
	施策項目	5. 道路の整備				根拠法令等						
事業概要	通学路の交通安全を確保するための事業である。 横断防止柵設置:L=550m 歩道床版設置工:L=160m 歩道設置工事:L=70m、舗装工:L=630m、ゲート工:1式、ボックスカルバート工:L=70m、カラー舗装:L=300m 張出歩道設置工事:L=150m					事業の性質(複数選択可)						
達成のめやす						<input checked="" type="checkbox"/> 1 継続性のある事業 <input type="checkbox"/> 2 緊急性の高い事業 <input type="checkbox"/> 3 人口増加に寄与する事業 <input type="checkbox"/> 4 住民サービス向上事業 <input type="checkbox"/> 5 防災関連事業 <input type="checkbox"/> 6 総合戦略対象事業 <input type="checkbox"/> 7 その他()						
留意事項						優先順位マトリックス(ハード事業のみ)						
期待する効果	通学路の交通安全を確保するために、道路管理者、教育委員会と警察等関係機関で合同点検を行い、安全性の確保が求められる箇所に対して整備を行い、学童の安全確保が期待できる。					5						
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度		令和2年度		令和3年度		最終目標					
	49%		55%		76%		100%					
		右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと										
年度の事業内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業の位置づけ					
	ボックスカルバート工(下検地):L=20m カラー舗装(泉):L=300m		ボックスカルバート工(下検地):L=30m 信号機移設(下検地):一式 張出歩道設置工事(新地):L=50m		張出歩道設置工事(新地):L=100m		測量設計:一式、用地買収:A=50㎡(2筆) 横断防止柵設置:L=550m、歩道床版設置工:L=160m、歩道設置工事:L=70m、舗装工:L=630m、ゲート工:1式、ボックスカルバート工:L=70m、カラー舗装:L=300m (この欄には事業全体の内容を記載のこと)					
事業計画(事業費、単位:千円)												
		令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業費				
財源内訳	国	7,700		13,750		11,000		91,300				
	県	0		0		0		0				
	地方債	5,600		10,100		8,100		67,000				
	負担金	0		0		0		0				
	その他	0		0		0		0				
	一般財源	1,500		1,950		1,700		14,499				
	合計	14,800		25,800		20,800		172,799				
予算費目	会計	一般		会計	土木		費					
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備総合交付金事業	対象事業費	25,000 千円	補助率(%)	55.0%	補助予定額	13,750 千円		
地方債	あり	⇒	名称	公共事業等債	対象事業費	11,250 千円	充当率(%)	90.0%	充当予定額	10,100 千円		

事業番号	2372	事業名	再編交付金事業(石佛・一丁田原線)			新規・既存の別	既存					
課名	土木課		係名	土木係								
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)						
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成	31	年度	～	令和	5	年度
	施策項目	5. 道路の整備				根拠法令等						
事業概要	道路改良舗装工事 L=300m W=7.5m(車道5.0m、歩道2.5m)					事業の性質(複数選択可)						
達成のめやす						<input checked="" type="checkbox"/>	1 継続性のある事業					
						<input type="checkbox"/>	2 緊急性の高い事業					
						<input type="checkbox"/>	3 人口増加に寄与する事業					
						<input type="checkbox"/>	4 住民サービス向上事業					
						<input checked="" type="checkbox"/>	5 防災関連事業					
留意事項	大雨時には道路冠水が起きている箇所があるため、排水路改良も行う必要がある。					<input type="checkbox"/>	6 総合戦略対象事業					
						<input type="checkbox"/>	7 その他()					
期待する効果	本路線は仲津小中学校の通学路に指定されているが、道幅が狭いため児童が危険な状況である。また、車の離合が困難な箇所もあるため、部分的に道路拡幅と歩道を設置することで周辺住民の安全が確保される。					優先順位マトリックス(ハード事業のみ)						
						5						
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標								
	5%	28%	69%	100%								
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと											
年度の事業内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業の位置づけ								
	測量設計:一式	用地買収:A=540㎡ 改良工事:L=100m	改良工事:L=100m	測量設計:一式 用地買収:A=540㎡(13筆) 改良工事:L=300m 排水路改良工事:L=300m (この欄には事業全体の内容を記載のこと)								
事業計画(事業費、単位:千円)												
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業費							
財源内訳	国	8,000	6,300	63,000	153,000							
	県	0	0	0	0							
	地方債	0	0	0	0							
	負担金	0	0	0	0							
	その他	0	0	0	0							
	一般財源	1,000	1,800	7,000	15,200							
	合計	9,000	8,100	70,000	168,200							
予算費目	会計	一般		会計	費目名	土木		費				
補助金	あり	⇒	名称	再編交付金	対象事業費	6,300千円	補助率(%)	100.0%	補助予定額	6,300千円		
地方債	なし	⇒	名称		対象事業費	0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円		

事業番号	2372	事業名	民生安定施設整備事業(道場寺・袋迫線)			新規・既存の別	既存					
課名	土木課		係名	土木係								
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)						
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成	23	年度	～	令和	2	年度
	施策項目	5. 道路の整備				根拠法令等						
事業概要	道路改良舗装工事 L=804m W=9.5m(車道W=7.0m、歩道W=2.5m)					事業の性質(複数選択可)						
達成のめやす						<input checked="" type="checkbox"/>	1 継続性のある事業					
						<input type="checkbox"/>	2 緊急性の高い事業					
						<input type="checkbox"/>	3 人口増加に寄与する事業					
						<input type="checkbox"/>	4 住民サービス向上事業					
						<input type="checkbox"/>	5 防災関連事業					
留意事項	平成27年度まで再編交付金事業で実施していたが、平成28年度より防衛8条で実施している。JR踏切の拡幅施工年度では施工費が膨大なものとなる。					<input type="checkbox"/>	6 総合戦略対象事業					
						<input type="checkbox"/>	7 その他()					
期待する効果	道路の拡幅・舗装整備、歩道を設置することにより周辺住民の安全確保が期待される。					優先順位マトリックス(ハード事業のみ)						
						5						
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度	令和2年度		令和3年度		最終目標						
	90%	100%				100%						
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと											
年度の事業内訳	令和元年度	令和2年度		令和3年度		全体事業の位置づけ						
	踏切拡幅工事:一式 改良工事:L=10m	改良工事:L=194m				測量設計:一式 用地買収:A=2,485㎡(47筆) 物件補償:N=16件 改良工事:L=804m、踏切拡幅工事:一式 (この欄には事業全体の内容を記載のこと)						
事業計画(事業費、単位:千円)												
	令和元年度	令和2年度		令和3年度		全体事業費						
財源内訳	国	104,790	12,012		0		500,259					
	県	0	0		0		0					
	地方債	0	0		0		0					
	負担金	0	0		0		0					
	その他	49,910	7,948		0		0					
	一般財源	0	0		0		116,775					
	合計	154,700	19,960		0		617,034					
予算費目	会計	一般			会計	費目名		土木			費	
補助金	あり	⇒	名称	民生安定施設整備事業	対象事業費	18,920 千円	補助率(%)	70.0%	補助予定額	13,244 千円		
地方債	なし	⇒	名称		対象事業費	0 千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0 千円		

事業番号	2372	事業名	再編交付金事業(東徳永8号線排水路)			新規・既存の別	既存					
課名	土木課		係名	土木係								
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)						
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成	30	年度	～	令和	2	年度
	施策項目	5. 道路の整備				根拠法令等						
事業概要	排水路改良工事 L=230m					事業の性質(複数選択可)						
						<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業					
						<input type="radio"/>	2 緊急性の高い事業					
						<input type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業					
						<input type="radio"/>	4 住民サービス向上事業					
達成のめやす	令和2年度完了予定					<input checked="" type="radio"/>	5 防災関連事業					
留意事項	東徳永一地区の冠水対策事業である。大雨時には、道路が冠水しており、原因としては、主排水路の水位が高い状況では、支流の排水路は十分に流れないので側溝から排水があふれて冠水が起きている状況である。さらに、H29で東徳永5号線が完成したことで、排水路が整備され、主排水路に排水が早く流れることで支流への影響が懸念される。支流排水路の改修では家屋の補償があり、コストが増大なものとなる。そこで、道路内にバイパスの排水管を設けることで、冠水の解消をしたい。					6 総合戦略対象事業						
						7 その他()						
期待する効果	排水路を整備することにより冠水対策となり、周辺住民の生活環境の改善が期待される。					優先順位マトリックス(ハード事業のみ)						
						5						
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度	令和2年度		令和3年度		最終目標						
	77%	100%				100%						
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと											
年度の事業内訳	令和元年度	令和2年度		令和3年度		全体事業の位置づけ						
	排水路改良工事:L=180m	排水路改良工事:L=50m				測量設計:一式 排水路改良工事:L=230m (この欄には事業全体の内容を記載のこと)						
事業計画(事業費、単位:千円)												
	令和元年度	令和2年度		令和3年度		全体事業費						
財源内訳	国	10,800	4,150		0		13,950					
	県	0	0		0		0					
	地方債	0	0		0		0					
	負担金	0	0		0		0					
	その他	0	0		0		0					
	一般財源	1,600	600		0		2,200					
	合計	12,400	4,750		0		16,150					
予算費目	会計	一般			会計	費目名		土木			費	
補助金	あり	⇒	名称	再編交付金	対象事業費	4,150 千円	補助率(%)	100.0%	補助予定額	4,150 千円		
地方債	なし	⇒	名称		対象事業費	0 千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0 千円		

事業番号	2372	事業名	特定防衛施設周辺整備調整交付金事業(樋満・キド線)			新規・既存の別	既存					
課名	土木課		係名	土木係								
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)						
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成	29	年度	～	令和	2	年度
	施策項目	5. 道路の整備				根拠法令等						
事業概要	道路改良工事 L=114m W=4.0m					事業の性質(複数選択可)						
達成のめやす						<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業					
留意事項						<input type="radio"/>	2 緊急性の高い事業					
						<input type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業					
						<input type="radio"/>	4 住民サービス向上事業					
						<input type="radio"/>	5 防災関連事業					
						<input type="radio"/>	6 総合戦略対象事業					
期待する効果	稲童下地区の集落では緊急車両が通れない道路がほとんどであり、本路線は集落の中心に位置する道路であるため、緊急車両が本路線を利用し、周辺住民の生活環境の改善が期待される。					優先順位マトリックス(ハード事業のみ)						
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度	令和2年度		令和3年度		最終目標						
	70%	100%				100%						
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと											
年度の事業内訳	令和元年度	令和2年度		令和3年度		全体事業の位置づけ						
	用地買収:A=310㎡(5筆) 物件補償:N=5件	改良工事:L=114m				測量設計:一式 用地買収:A=310㎡(5筆) 物件補償:N=5件 改良工事:L=114m (この欄には事業全体の内容を記載のこと)						
事業計画(事業費、単位:千円)												
財源内訳	令和元年度	令和2年度		令和3年度		全体事業費						
	国	29,900	14,600		0		13,950					
	県	0	0		0		0					
	地方債	0	0		0		0					
	負担金	0	0		0		0					
	その他	0	0		0		0					
	一般財源	1,500	2,700		0		2,200					
	合計	31,400	17,300		0		16,150					
予算費目	会計	一般			会計	費目名		土木			費	
補助金	あり	⇒	名称	再編交付金	対象事業費	14,600 千円	補助率(%)	100.0%	補助予定額	14,600 千円		
地方債	なし	⇒	名称		対象事業費	0 千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0 千円		

事業番号	2370	事業名	社会資本整備総合交付金事業(橋梁修繕事業)			新規・既存の別	既存					
課名	土木課		係名	土木係								
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)						
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成	27	年度	～	令和	10	年度
	施策項目	5. 道路の整備				根拠法令等						
事業概要	長寿命化修繕計画:44橋 本市が管理する道路橋は、現在347橋あり、その中で主要道路(交通量が多い等)に架かる橋梁112橋のうち、長寿命化修繕計画で調査した健全度80以下の橋梁44橋を修繕し長寿命化を図る。					事業の性質(複数選択可)						
達成のめやす	令和3年度までに緊急性の高い橋梁(点検判定区分Ⅲ)を中心に橋梁修繕を行っていく。					<input checked="" type="checkbox"/>	1 継続性のある事業					
留意事項	現在の橋梁長寿命化修繕計画は遠望目視の点検による計画であるが、平成26年度の道路法施行規則の改正により近接目視による点検が義務付けられた。これにより、平成31年までに近接目視の点検による橋梁長寿命化修繕計画を策定しなければ、社会資本整備総合交付金事業の補助要綱を満たさないことになる。					<input type="checkbox"/>	2 緊急性の高い事業					
						<input type="checkbox"/>	3 人口増加に寄与する事業					
期待する効果	今後増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに要する経費のコスト縮減、橋梁の長寿命化を図り、道路網の安全性・信頼性を確保する。					<input type="checkbox"/>	4 住民サービス向上事業					
						<input type="checkbox"/>	5 防災関連事業					
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度		令和2年度		令和3年度		優先順位マトリックス(ハード事業のみ)					
	13橋		16橋		18橋		5					
年度の事業内訳	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと					最終目標						
	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業の位置づけ					
橋梁補修工事:2橋 橋梁補修設計:1橋		橋梁補修工事:3橋 橋梁補修設計:2橋 橋梁定期点検:37橋		橋梁補修工事:2橋 橋梁補修設計:2橋		測量設計:一式 用地買収:A=4,108㎡(30筆) 物件補償:N=2件 改良工事:L=850m (この欄には事業全体の内容を記載のこと)						
事業計画(事業費、単位:千円)												
		令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業費				
財源内訳	国	33,000		38,500		29,150		417,829				
	県	0		0		0		0				
	地方債	24,300		22,200		21,400		304,500				
	負担金	0		0		0		0				
	その他	0		0		0		0				
	一般財源	4,500		11,500		4,450		49,971				
	合計	61,800		72,200		55,000		772,300				
予算費目	会計	一般			会計	土木						
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備総合交付金事業	対象事業費	70,000 千円	補助率(%)	55.0%	補助予定額	38,500 千円		
地方債	あり	⇒	名称	公共事業等債	対象事業費	24,750 千円	充当率(%)	90.0%	充当予定額	22,200 千円		

事業番号	2370	事業名	社会資本整備総合交付金事業(広ワラ・上花松線)			新規・既存の別	既存					
課名	土木課		係名	土木係								
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)						
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成	25	年度	～	令和	5	年度
	施策項目	5. 道路の整備				根拠法令等						
事業概要	本路線は国道201号バイパスと県道 直方行橋線を結ぶ路線であり、交通量に対して幅員が狭く離合も困難であり、また通学路でもあるため、現道拡幅及び歩道設置を行うものである。(3種5級) 工事長L=700m W=6.25m					事業の性質(複数選択可)						
達成のめやす						<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業					
留意事項	社会資本整備総合交付金事業の本パッケージについては、平成29年度の内示率が悪いいため、他事業との調整が必要となる。平成30年度からは別パッケージで施工。					<input type="radio"/>	2 緊急性の高い事業					
						<input type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業					
期待する効果	本路線の現道拡幅及び歩道設置することにより、学童の安全確保と地域住民の安心安全かつ快適な交通環境の確保が期待できる。					<input type="radio"/>	4 住民サービス向上事業					
						<input type="radio"/>	5 防災関連事業					
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度		令和2年度		令和3年度		優先順位マトリックス(ハード事業のみ)					
	30%		38%		46%		5					
年度の事業内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		最終目標					
	物件調査:N=1件 用地買収:A=113㎡(3筆) 物件補償:N=1件 改良工事:L=100m		改良工事:L=50m		改良工事:L=70m		全体事業の位置づけ 測量設計:一式 用地買収:A=198㎡(7筆) 物件補償:N=2件 改良工事:L=330m (この欄には事業全体の内容を記載のこと)					
事業計画(事業費、単位:千円)												
財源内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業費					
	国	14,524	11,000	11,000	103,236							
	県	0	0	0	0							
	地方債	10,600	8,100	8,100	75,700							
	負担金	0	0	0	0							
	その他	0	0	0	0							
	一般財源	2,585	2,200	2,200	15,216							
	合計	27,709	21,300	21,300	194,152							
予算費目	会計	一般			会計	土木						
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備総合交付金事業	対象事業費	20,000 千円	補助率(%)	55.0%	補助予定額	11,000 千円		
地方債	あり	⇒	名称	公共事業等債	対象事業費	9,000 千円	充当率(%)	90.0%	充当予定額	8,100 千円		

事業番号	2370	事業名	社会資本整備総合交付金事業(塩焼・カシ上線)			新規・既存の別	既存				
課名	土木課		係名	土木係							
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)						
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成	24	年度	～	令和	6	年度
	施策項目	5. 道路の整備			根拠法令等						
事業概要	本路線は、県道 長尾稗田平島線と市街地を結ぶ路線であるが、狭隘路線であるため離合も困難にもかかわらず、通勤時間を中心に県道の迂回路として通行量が多く通行に支障をきたしているため現道拡幅するものである。(3種4級) 工事長L=850m W=7.0m				事業の性質(複数選択可)						
達成のめやす					<input checked="" type="radio"/> 1 継続性のある事業 <input type="radio"/> 2 緊急性の高い事業 <input type="radio"/> 3 人口増加に寄与する事業 <input type="radio"/> 4 住民サービス向上事業 <input type="radio"/> 5 防災関連事業 <input type="radio"/> 6 総合戦略対象事業 <input type="radio"/> 7 その他()						
留意事項					優先順位マトリックス(ハード事業のみ)						
期待する効果	現道拡幅により通行の円滑化及び歩行者の安全性の向上が期待できる。				5						
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標							
	56%	67%	75%	100%							
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと										
年度の事業内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業の位置づけ							
	改良工事:L=90m	改良工事:L=90m	改良工事:L=90m	測量設計:一式 用地買収:A=4,108㎡(30筆) 物件補償:N=2件 改良工事:L=850m (この欄には事業全体の内容を記載のこと)							
事業計画(事業費、単位:千円)											
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業費							
財源内訳	国	9,500	12,500	9,500	119,602						
	県	0	0	0	0						
	地方債	8,500	11,200	8,500	99,000						
	負担金	0	0	0	0						
	その他	0	0	0	0						
	一般財源	2,000	2,000	2,200	24,034						
	合計	20,000	25,700	20,200	242,636						
予算費目	会計	一般	会計	費目名	土木	費					
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備総合交付金事業	対象事業費	25,000 千円	補助率(%)	50.0%	補助予定額	12,500 千円	
地方債	あり	⇒	名称	公共事業等債	対象事業費	12,500 千円	充当率(%)	90.0%	充当予定額	11,200 千円	

事業番号	事業名 国有地管理事業				新規・既存の別	新規		
課名	基地対策室	係名	基地対策係					
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了（期間を設定していない場合は空白）			
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			令和 2 年度	～ 令和 2 年度		
	施策項目	4. 景観・自然環境の保全			根拠法令等			
事業概要	市が防衛省より借り受け、民間団体へ使用、管理させていた国有地について、民間団体にかわり、使用期間の満了する令和3年3月末まで除草作業等を行う。				事業の性質（複数選択可）			
達成のめやす	雑草等が繁茂する時期にあわせ、除草作業等を行い、景観を保全する。				<input type="checkbox"/> 1 継続性のある事業 <input type="checkbox"/> 2 緊急性の高い事業 <input type="checkbox"/> 3 人口増加に寄与する事業 <input checked="" type="checkbox"/> 4 住民サービス向上事業 <input type="checkbox"/> 5 防災関連事業 <input type="checkbox"/> 6 総合戦略対象事業 <input type="checkbox"/> 7 その他（ ）			
留意事項								
期待する効果	近隣住民の生活環境の向上				優先順位マトリックス（ハード事業のみ）			
数値目標 （事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標				
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと							
年度の事業内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業の位置づけ				
	施設管理運営委託 (この欄には事業全体の内容を記載のこと)							
事業計画（事業費、単位：千円）								
財源内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業費				
	国	0	0	0	0			
	県	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0			
	負担金	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	0	5,000	0	5,000			
	合計	0	5,000	0	5,000			
予算費目	会計	会計	費目名	費				
補助金	⇒	名称	対象事業費	0千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0千円
地方債	⇒	名称	対象事業費	0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円

事業番号	3069	事業名	道路整備事業(県営事業:行橋停車場線)			新規・既存の別	既存				
課名	都市政策課		係名	市街地整備係							
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)						
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成	27	年度	～	令和	3	年度
	施策項目	5. 道路の整備			根拠法令等						
事業概要	都市計画道路事業は、これまで、東九州自動車道(国事業)、国道201号バイパス(国事業)、行事西泉線(県事業)、行橋駅西口地区土地区画整理事業地内道路、東大橋西宮市線、駅東通り線を実施してきており、引き続き街路整備プログラムによる事業推進の観点から、都市計画道路、行橋停車場線について街路事業(県事業)による整備を実施するものである。				事業の性質(複数選択可)						
達成のめやす	平成33年度で事業を完了する予定である。				● 1 継続性のある事業						
					2 緊急性の高い事業						
留意事項	周辺用地取得が事業遂行に影響する。				● 3 人口増加に寄与する事業						
					● 4 住民サービス向上事業						
期待する効果	行橋駅東側における中心市街地の再生に寄与するものである。				● 5 防災関連事業						
					● 6 総合戦略対象事業						
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度		令和2年度		令和3年度		優先順位マトリックス(ハード事業のみ)				
	61.1%		87.7%		100%		2 最終目標 100%				
年度の事業内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業の位置づけ				
	(用地及び物件補償費)負担金		(用地及び物件補償費)負担金		(用地及び物件補償費)負担金		・(用地補償・委託・工事等)負担金 (この欄には事業全体の内容を記載のこと)				
事業計画(事業費、単位:千円)											
財源内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業費				
	国	0	0	0	0	0	0				
	県	0	0	0	0	0	0				
	地方債	151,400	144,800	30,000	531,200						
	負担金	0	0	0	0						
	その他	0	16,242	0	0						
	一般財源	16,996	0	3,500	59,759						
	合計	168,396	161,042	33,500	590,959						
予算費目	会 計	一般会計		会 計	費目名	土木費		費			
補助金	なし	⇒	名称	対象事業費	千円	補助率(%)		補助予定額	千円		
地方債	あり	⇒	名称	公共事業等債	160,983 千円	充当率(%)	90.0%	充当予定額	144,800 千円		

事業番号	3260	事業名	JR行橋駅高架橋耐震補強事業			新規・既存の別	既存	
課名	都市政策課		係名	市街地整備係				
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了（期間を設定していない場合は空白）			
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成 28 年度	～ 令和 4 年度		
	施策項目	6. 公共交通の充実			根拠法令等	国土交通省 特定鉄道等施設に関する耐震省令		
事業概要	国土交通省が定めた「特定鉄道等施設に関する耐震省令」に基づき、九州旅客鉄道株式会社の行う耐震工事に対し、地元自治体として補助をする。				事業の性質（複数選択可）			
達成のめやす	平成34年度で事業を完了する。				<input type="checkbox"/>	1 継続性のある事業		
					<input checked="" type="checkbox"/>	2 緊急性の高い事業		
留意事項	H28年度に実際の設計工事を行った際に、想定のコシ筋よりも大きなものを使用する必要がでたり、地下水位が高く矢板等が必要になり、全体事業費が約2億4千万円増額となり市負担分が約4千万円増額となっている。				<input type="checkbox"/>	3 人口増加に寄与する事業		
					<input checked="" type="checkbox"/>	4 住民サービス向上事業		
期待する効果	JR行橋駅高架橋の耐震化				優先順位マトリックス（ハード事業のみ）			
					1			
数値目標 （事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標				
	53%	68%	84%	進捗率 100%				
右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと								
年度の事業内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業の位置づけ				
	行橋駅高架橋耐震	行橋駅・田町・西宮市高架橋耐震	行事・博多町・西宮市第二・大宮高架橋耐震	JR行橋駅高架橋耐震補強に係る補助金 (この欄には事業全体の内容を記載のこと)				
事業計画（事業費、単位：千円）								
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業費			
財源内訳	国	0	0	0	0			
	県	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0			
	負担金	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	25,350	25,400	25,250	162,090			
	合計	25,350	25,400	25,250	162,090			
予算費目	会計	一般会計		会計	費目名	土木費		
補助金		⇒	名称	対象事業費	千円	補助率(%)	補助予定額	千円
地方債		⇒	名称	対象事業費	千円	充当率(%)	充当予定額	千円

事業番号	3133	事業名	次世代自動車普及事業			新規・既存の別	既存	
課名	環境課		係名	環境係				
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了（期間を設定していない場合は空白）			
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			令和	年度	～ 令和	
	施策項目	7. エネルギー対策の推進			根拠法令等			
事業概要	地球温暖化の原因となる温室効果ガス削減のため、次世代自動車の普及を促進させることを目的とした補助金交付事業				事業の性質（複数選択可）			
達成のめやす	次世代自動車を普及させる。				<input checked="" type="checkbox"/> 1 継続性のある事業 <input type="checkbox"/> 2 緊急性の高い事業 <input type="checkbox"/> 3 人口増加に寄与する事業 <input type="checkbox"/> 4 住民サービス向上事業 <input type="checkbox"/> 5 防災関連事業 <input type="checkbox"/> 6 総合戦略対象事業 <input type="checkbox"/> 7 その他（ ）			
留意事項								
期待する効果	次世代自動車を普及させることにより、地球温暖化の原因となる温室効果ガスが削減される。				優先順位マトリックス（ハード事業のみ）			
数値目標 （事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標）	令和元年	令和2年	令和3年	最終目標				
	次世代自動車を普及させる		次世代自動車を普及させる	次世代自動車を普及させる				
右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと								
年度の事業内訳	令和元年	令和2年	令和3年	全体事業の位置づけ				
	次世代自動車購入補助金 @100,000円×12台=1,200,000円 @150,000円×20台=3,000,000円	次世代自動車購入補助金 @100,000円×12台=1,200,000円 @150,000円×20台=3,000,000円	次世代自動車購入補助金 @100,000円×12台=1,200,000円 @150,000円×20台=3,000,000円	(この欄には事業全体の内容を記載のこと)				
事業計画（事業費、単位：千円）								
財源内訳	令和元年	令和2年	令和3年	全体事業費				
	国	0	0	0	0			
	県	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0			
	負担金	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	4,200	4,200	4,200	0			
	合計	4,200	4,200	4,200	0			
予算費目	会計	会計	費目名	費				
補助金	⇒	名称	対象事業費	千円	補助率（%）	補助予定額	0千円	
地方債	⇒	名称	対象事業費	0千円	充当率（%）	0.0%	充当予定額	0千円

事業番号	3372	事業名	下水道ストックマネジメント支援制度(雨水ポンプ場・雨水幹線・都市下水路)			新規・既存の別	既存			
課名	下水道課		係名	下水道係						
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)					
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成	29	年度	～	令和	年度
	施策項目	8. 上下水道の整備			根拠法令等					
事業概要	市民の快適な生活環境を保護し、浸水から生命・財産を守る。雨水ポンプ場および都市下水路について、老朽化した設備等の改築・更新を計画的に進め、持続的な機能の確保と、ライフサイクルコストの低減を図る。				事業の性質（複数選択可）					
達成のめやす	各処理区域において浸水被害を出さない。				<input checked="" type="checkbox"/> 1 継続性のある事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 緊急性の高い事業 <input type="checkbox"/> 3 人口増加に寄与する事業 <input type="checkbox"/> 4 住民サービス向上事業 <input checked="" type="checkbox"/> 5 防災関連事業 <input type="checkbox"/> 6 総合戦略対象事業 <input type="checkbox"/> 7 その他（ ）					
留意事項					優先順位マトリックス（ハード事業のみ）					
期待する効果	中長期的な施設の状態を予測しながら、老朽化した下水道施設(雨水ポンプ場および雨水都市下水路)の計画的・効率的な改築・更新ができる。				1					
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度		令和2年度		令和3年度		最終目標			
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと									
年度の事業内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業の位置づけ			
	<ul style="list-style-type: none"> 施設改築・更新工事(西部ポンプ場) 耐震設計(北部ポンプ場) 		<ul style="list-style-type: none"> 雨水幹線改築工事(東部雨水幹線)(資1-1,7) 基本設計(東部ポンプ場)(資1-1,7) 施設改築・更新工事(西部ポンプ場:電気施設)(資1-1,3~6) 事業認可取得業務委託(南部ポンプ場)(資1-1) 		<ul style="list-style-type: none"> ストックマネジメント計画委託 雨水幹線改築工事(東部雨水幹線) 詳細設計(東部ポンプ場) 施設改築・更新工事(北部・西部) 		(この欄には事業全体の内容を記載のこと)			
事業計画(事業費、単位:千円)										
財源内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業費			
	国	99,000	47,800	266,000	2,897,500					
	県	0	0	0	0					
	地方債	89,100	43,000	239,400	2,607,750					
	負担金	0	0	0	0					
	その他	0	0	0	0					
	一般財源	10,953	16,450	27,129	358,726					
	合計	199,053	107,250	532,529	5,863,976					
予算費目	会計	一般		会計	費目名	土木		費		
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備交付金	対象事業費	95,600 千円	補助率(%)	50.0%	補助予定額	47,800 千円
地方債	あり	⇒	名称	公共事業等債	対象事業費	47,800 千円	充当率(%)	90.0%	充当予定額	43,000 千円

事業番号	新規	事業名	行事雨水幹線建設事業(仮称:浦川ポンプ場)				新規・既存の別	新規		
課名	下水道課		係名	下水道係						
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				令和 2 年度	～ 令和 8 年度			
	施策項目	8. 上下水道の整備				根拠法令等				
事業概要	平成30年7月6日の豪雨にて裏川沿いの水路があふれ床下浸水及び道路冠水が発生。それに伴い周辺の雨水対策検討およびポンプ場の建設					事業の性質(複数選択可)				
						<input type="checkbox"/>	1 継続性のある事業			
達成のめやす	各処理区域において浸水被害を出さない。					<input checked="" type="checkbox"/>	2 緊急性の高い事業			
						<input type="checkbox"/>	3 人口増加に寄与する事業			
留意事項						<input type="checkbox"/>	4 住民サービス向上事業			
						<input checked="" type="checkbox"/>	5 防災関連事業			
期待する効果	雨水幹線ならびに雨水ポンプ場を建設することにより、浸水被害及び事故発生等が回避できる。					優先順位マトリックス(ハード事業のみ)				
						1				
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標						
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと									
年度の事業内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業の位置づけ						
		・管渠・雨水ポンプ場 概略設計(補助事業)(資7-1~4) ・雨水幹線施設改修工事(資7-1,3,5)	・管渠・雨水ポンプ場 認可変更	・雨水ポンプ場建設 ・雨水幹線整備 (この欄には事業全体の内容を記載のこと)						
事業計画(事業費、単位:千円)										
財源内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業費						
	国	0	6,140	0	0					
	県	0	0	0	0					
	地方債	0	5,500	0	0					
	負担金	0	0	0	0					
	その他	0	0	0	0					
	一般財源	0	4,030	10,000	0					
	合計	0	15,670	10,000	0					
予算費目	会計	一般	会計	費目名	土木	費				
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備交付金	対象事業費	12,280 千円	補助率(%)	50.0%	補助予定額	6,140 千円
地方債	あり	⇒	名称	公共事業等債	対象事業費	6,140 千円	充当率(%)	90.0%	充当予定額	5,500 千円

事業番号	2383	事業名	都市下水路施設補修工事費			新規・既存の別	既存	
課名	下水道課		係名	下水道係				
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了（期間を設定していない場合は空白）			
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成 5 年度	～ 令和 年度		
	施策項目	8. 上下水道の整備			根拠法令等			
事業概要	都市下水路、雨水幹線、雨水ポンプ場、西泉調整池の維持管理補修。				事業の性質（複数選択可）			
達成のめやす	各処理区域において浸水被害を出さない。				●	1 継続性のある事業		
留意事項					●	2 緊急性の高い事業		
						3 人口増加に寄与する事業		
期待する効果	都市下水路、雨水幹線、雨水ポンプ場、西泉調整池の予防保全的な管理が実施でき、浸水被害及び事故発生ならびに設備の機能停止等が回避できる。					4 住民サービス向上事業		
					●	5 防災関連事業		
数値目標 （事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標）	令和元年度		令和2年度		令和3年度		優先順位マトリックス（ハード事業のみ）	
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと						1	
年度の事業内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		最終目標	
	<ul style="list-style-type: none"> 雨水ポンプ場 修繕費 雨水ポンプ場 樹木管理委託料 東部雨水幹線 管内調査業務委託料 みやこ都市下水路 管理道維持管理委託 西泉調整池 維持浚渫工事費 雨水ポンプ場 維持管理工事費 南部都市下水路 防護柵更新工事費 		<ul style="list-style-type: none"> 雨水ポンプ場 修繕費（南・北・西）（資8-1、3、7、8） 都市下水路 施設改修工事（南）（資8-1、4～6） 雨水ポンプ場 場内整備工事（北）（資8-1、7） 西泉調整池 維持浚渫工事（資8-1、9） 都市下水路 管理道維持管理工事（みやこ）（資8-1、9） 		<ul style="list-style-type: none"> 雨水ポンプ場 修繕費（東・西） 雨水ポンプ場 樹木維持管理委託（南） 西泉調整池 維持浚渫工事 都市下水路 管理道維持管理工事（みやこ） 		全体事業の位置づけ	
事業計画（事業費、単位：千円）								
財源内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業費	
	国	1,650	0	0	0	0		
	県	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	負担金	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	7,275	14,329	5,500	0	0		
	合計	8,925	14,329	5,500	0	0		
予算費目	会計	一般		会計	費目名	土木	費	
補助金	なし	⇒	名称	対象事業費	千円	補助率（％）	補助予定額	千円
地方債	なし	⇒	名称	対象事業費	千円	充当率（％）	充当予定額	千円

事業番号	2959	事業名	みやこ雨水幹線建設事業			新規・既存の別	既存					
課名	下水道課		係名	下水道係								
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)						
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成	27	年度	～	令和	1	年度
	施策項目	8. 上下水道の整備				根拠法令等						
事業概要	津田・長江地区の浸水防止対策事業					事業の性質（複数選択可）						
						<input checked="" type="checkbox"/>	1 継続性のある事業					
						<input checked="" type="checkbox"/>	2 緊急性の高い事業					
							3 人口増加に寄与する事業					
							4 住民サービス向上事業					
						<input checked="" type="checkbox"/>	5 防災関連事業					
							6 総合戦略対象事業					
							7 その他（ ）					
達成のめやす												
留意事項	ピーク流入量の減量を目的としている施設。											
期待する効果	津田・長江地区の浸水被害の減災。					優先順位マトリックス（ハード事業のみ）						
						2						
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度		令和2年度		令和3年度		最終目標					
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと											
年度の事業内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業の位置づけ					
	・工事費(調整池付帯工) ・事後調査委託費 10件 ・損失補償費 10件		・制御盤機能増設工事(資17-1、2) ・保安施設工事(資17-1、2) ・事後調査委託費 8件(資17-1、2) ・損失補償費 8件(資17-1、2)				(この欄には事業全体の内容を記載のこと)					
事業計画(事業費、単位:千円)												
		令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業費				
財源内訳	国	8,350		0		0		0				
	県	0		0		0		0				
	地方債	11,200		0		0		0				
	負担金	0		0		0		0				
	その他	0		0		0		0				
	一般財源	18,318		7,730		0		0				
	合計	37,868		7,730		0		0				
予算費目	会 計	一 般			会 計	費 目 名	土 木		費			
補助金	なし	⇒	名称		対象事業費	0千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0千円		
地方債	なし	⇒	名称		対象事業費	0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円		

事業番号	事業名	総係費(財務会計システムリース)			新規・既存の別	既存			
課名	上水道課		係名	管理係					
	施策項目	8. 上下水道の整備			根拠法令等	水道法			
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			令和 2 年度	～ 令和 7 年度			
	施策項目	8. 上下水道の整備			根拠法令等	水道法			
事業概要	前回5年間(H27年9月1日～H32年8月31日)契約を締結していた財務会計システムを再度5年間(R2年9月1日～R7年8月31日)締結するもの				事業の性質（複数選択可）				
					<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業			
					<input type="radio"/>	2 緊急性の高い事業			
					<input type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業			
達成のめやす					<input type="radio"/>	4 住民サービス向上事業			
					<input type="radio"/>	5 防災関連事業			
留意事項					<input type="radio"/>	6 総合戦略対象事業			
					<input type="radio"/>	7 その他 ()			
期待する効果	上水道の会計事業を的確かつスムーズに行うことにより健全かつ正確な経営ができる				優先順位マトリックス(ハード事業のみ)				
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度		令和2年度		令和3年度		最終目標		
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと		令和2年9月1日～令和7年8月31日までの契約締結						
年度の事業内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業の位置づけ		
	(4-9月)システムハードウェア保守料 30,258円 (10-3月)システムハードウェア保守料 30,822円 (4-9月)アプリケーション保守委託 250,062円 (10-3月)アプリケーション保守委託 254,694円 (4-9月)システムリース 507,186円 (10-3月)システムリース 516,582円		(4-8月)システムハードウェア保守料 25,658円 (9-3月)システムハードウェア保守料 35,959円 (4-8月)アプリケーション保守委託 212,245円 (9-3月)アプリケーション保守委託 297,143円 (4-8月)システムリース 430,485円 (9-3月)システムリース 602,679円 カスタマイズ経費 1,628,000円		財務会計システムハードウェア保守料 61,644円 財務会計アプリケーション保守委託 509,388円 財務会計システムリース 1,033,164円		財務会計システムハードウェア保守料 210,617円 財務会計アプリケーション保守委託 1,740,409円 財務会計システムリース 3,529,977円 残り3年5ヶ月分(41ヶ月) 5,481,003円		
事業計画(事業費、単位:千円)									
	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業費		
財源内訳	国	0	0	0	0	0			
	県	0	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0	0			
	負担金	0	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0	0			
	一般財源	1,590	3,233	1,605	5,482				
	合計	1,590	3,233	1,605	5,482				
予算費目	会 計	会 計	費目名	費					
補助金	なし	⇒	名称	対象事業費	0千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0千円
地方債	なし	⇒	名称	対象事業費	0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円

事業番号	事業名 老朽管更新事業費				新規・既存の別	既存					
課名	上水道課		係名	上水道係							
総合計画	施策項目	8. 上下水道の整備			根拠法令等	水道法					
	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)						
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成	22	年度	～	令和	7	年度
	施策項目	8. 上下水道の整備			根拠法令等	水道法					
事業概要	本市は老朽管が多く残存しており、管路更新を推進することにより、漏水防止、断水被害の減少及び耐震性の向上を図るものである。				事業の性質（複数選択可）						
達成のめやす	老朽管布設替延長 L=14,044m				<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業					
					<input checked="" type="radio"/>	2 緊急性の高い事業					
					<input type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業					
					<input checked="" type="radio"/>	4 住民サービス向上事業					
					<input type="radio"/>	5 防災関連事業					
					<input type="radio"/>	6 総合戦略対象事業					
					<input type="radio"/>	7 その他（ ）					
留意事項											
期待する効果	水道水の安定供給と公衆衛生の向上				優先順位マトリックス（ハード事業のみ）						
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度		令和2年度		令和3年度		最終目標				
	L=360m		L=731m		L=970m		有収率の向上				
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと										
年度の事業内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業の位置づけ				
	・配水管布設替工事 L=360m ・舗装工事 A=3,900㎡ ・測量設計 L=3,600m		・配水管布設替工事 L=731m ・舗装工事 A=2,030㎡		・配水管布設替工事 L=970m ・舗装工事 A=2,900㎡		・配水管布設替工事 L=14,044m ・測量設計 L=14,044m (この欄には事業全体の内容を記載のこと)				
事業計画(事業費、単位:千円)											
財源内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業費				
	国	34,606	34,490	31,621	433,455						
	県	0	0	0	0						
	地方債	34,600	34,400	31,600	433,400						
	負担金	0	0	0	0						
	その他	0	0	0	0						
	一般財源	41,066	13,253	12,015	363,819						
合計	110,272	82,143	75,236	1,230,674							
予算費目	会 計	水道事業		会 計	費目名	資本的支出		費			
補助金	なし	⇒	名称	福岡県生活基盤施設耐震化等補助金 水道施設等耐震化事業	対象事業費	68,980 千円	補助率(%)	50.0%	補助予定額	34,490 千円	
地方債	なし	⇒	名称	水道事業 (建設改良/上水道)	対象事業費	68,980 千円	充当率(%)	50.0%	充当予定額	34,400 千円	

事業番号	事業名				重要給水施設配水管整備事業(行橋北)	新規・既存の別	既存					
課名	上水道課		係名	上水道係								
総合計画	施策項目	8. 上下水道の整備				根拠法令等	水道法					
	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)						
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成	24	年度	～	令和	7	年度
	施策項目	8. 上下水道の整備				根拠法令等	水道法					
事業概要	本市は平成22年3月に地域防災計画を策定し、災害時において重要な拠点となる病院、診療所、介護や援助が必要な災害時要援護者の避難拠点など、給水優先度が特に高い施設への配水管を整備することにより、人命の安全確保を図るものである。					事業の性質（複数選択可）						
達成のめやす	老朽管布設替延長 L=12,000m					●	1 継続性のある事業					
留意事項						●	2 緊急性の高い事業					
							3 人口増加に寄与する事業					
						●	4 住民サービス向上事業					
期待する効果	水道水の安定供給と公衆衛生の向上					優先順位マトリックス（ハード事業のみ）						
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度		令和2年度		令和3年度		最終目標					
	L=345m		L=472m		L=60m		有収率の向上					
右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと												
年度の事業内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業の位置づけ					
	・配水管布設替工事 L=345m ・舗装工事 A=1,500㎡		・配水管布設替工事 L=472m ・舗装工事 A=1,520㎡ ・測量設計 1.0式(万年橋添架管) ・建物調査 1.0式		・配水管布設替工事 L=60m (万年橋添架管)		・配水管布設替工事 L=12,000m ・測量設計 L=12,000m (この欄には事業全体の内容を記載のこと)					
事業計画(事業費、単位:千円)												
財源内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業費					
	国	18,700	19,900	26,400	270,000							
	県	0	0	0	0							
	地方債	37,400	39,800	52,800	540,000							
	負担金	0	0	0	0							
	その他	0	0	0	0							
	一般財源	10,603	27,228	9,765	90,000							
合計	66,703	86,928	88,965	900,000								
予算費目	会 計	水道事業		会 計	費目名	資本的支出		費				
補助金	なし	⇒	名称	福岡県生活基盤施設耐震化等補助金 水道施設等耐震化事業	対象事業費	59,700 千円	補助率(%)	33.3%	補助予定額	19,900 千円		
地方債	なし	⇒	名称	水道事業 (建設改良/上水道)	対象事業費	59,700 千円	充当率(%)	66.6%	充当予定額	39,800 千円		

事業番号	事業名				新規・既存の別		既存		
課名	上水道課		係名	上水道係					
	施策項目	8. 上下水道の整備			根拠法令等	水道法			
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成	年度	～	平成	年度
	施策項目	8. 上下水道の整備			根拠法令等	水道法			
事業概要	老朽による漏水頻度の高い管の布設替えを行う事で漏水事故の発生を抑制し、給水過多となっている管の増口径及び新規に配水管を布設することにより水道水の安定供給を図る。				事業の性質（複数選択可）				
					●	1 継続性のある事業			
					●	2 緊急性の高い事業			
						3 人口増加に寄与する事業			
達成のめやす	有収率の向上				●	4 住民サービス向上事業			
						5 防災関連事業			
留意事項						6 総合戦略対象事業			
						7 その他（ ）			
期待する効果	水道水の安定供給と公衆衛生の向上				優先順位マトリックス（ハード事業のみ）				
					2				
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度		令和2年度		令和3年度		最終目標		
	L=4,095m		L=3,812m		L=3,900m		有収率の向上		
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと								
年度の事業内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業の位置づけ		
	・配水管布設替工事 L=3,755m ・配水管切廻工事 L=340m ・舗装工事 A=8,725㎡ ・高架水槽解体工事 1.0基 ・測量設計 L=1,355m		・配水管布設替工事 L=3,380m ・配水管切廻工事 L=280m ・舗装工事 A=12,840㎡ ・橋梁添架管布設替工事 L=152m ・測量設計 L=1,960m		・配水管布設替工事 L=3,600m ・配水管切廻工事 L=300m ・舗装工事 A=15,000㎡ ・測量設計 L=600m		漏水件数の減少と給水件数の増加 (この欄には事業全体の内容を記載のこと)		
事業計画(事業費、単位:千円)									
	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業費		
財源内訳	国	0	0	0	0	0	0		
	県	0	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0	0		
	負担金	9,000	6,230	8,435	23,665				
	その他	0	0	0	0				
	一般財源	326,287	385,683	274,661	986,631				
	合計	335,287	391,913	283,096	1,010,296				
予算費目	会計	会計	費目名	費					
補助金	なし	⇒	名称	対象事業費	0千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0千円
地方債	なし	⇒	名称	対象事業費	0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円

v		事業名	配水設備費(浄水場設備整備費)			新規・既存の別	既存		
課名		上水道課		係名	浄水場係				
		施策項目	8. 上下水道の整備			根拠法令等	水道法		
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			令和	年度	～	令和	年度
	施策項目	8. 上下水道の整備			根拠法令等	水道法			
事業概要		施設の老朽化が進み水の安定供給に支障をきたす可能性があるため整備を行うもの。				事業の性質（複数選択可）			
達成のめやす		水道法第1条「正常にして豊富低廉な水の供給を図り、もって公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与すること」				<input checked="" type="radio"/> 1 継続性のある事業 <input checked="" type="radio"/> 2 緊急性の高い事業 <input type="radio"/> 3 人口増加に寄与する事業 <input checked="" type="radio"/> 4 住民サービス向上事業 <input type="radio"/> 5 防災関連事業 <input type="radio"/> 6 総合戦略対象事業 <input type="radio"/> 7 その他（ ）			
留意事項		上水道事業全体の経営を見直し、広域化等含めた更なる検討を行わなければならない。							
期待する効果		①水の安定供給 ②省エネルギー				優先順位マトリックス(ハード事業のみ)			
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度		令和2年度		令和3年度		最終目標		
	15.00		20.00		25.00		100.00		
		右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと		維持管理継続事業であるため数値目標は20年で100%を目指す。					
年度の事業内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業の位置づけ		
	送水ポンプ更新工事 1式 取水塔監視カメラ設置工事(2台) 1式 矢留浄水場電気設備更新設計業務委託 1式 その他		2系沈澱池排泥弁取替工事 中間水槽サンプリングポンプ設置工事 送水ポンプ更新工事 その他		高圧受変電設備更新工事1式 2系沈澱池排泥弁取替工事 表洗ポンプ更新工事 その他		(この欄には事業全体の内容を記載のこと)		
事業計画(事業費、単位:千円)									
		令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業費	
財源内訳	国	0		0		0		0	
	県	0		0		0		0	
	地方債	0		0		0		0	
	負担金	0		0		0		0	
	その他	0		0		0		0	
	一般財源	43,966		12,327		163,627		0	
	合計	43,966		12,327		163,627		0	
予算費目	会計	会計		費目名		費			
補助金	なし	⇒	名称	対象事業費	0千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0千円
地方債	なし	⇒	名称	対象事業費	0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円

事業番号	事業名 第5次拡張事業				新規・既存の別	既存					
課名	上水道課		係名	上水道係							
総合計画	施策項目	8. 上下水道の整備			根拠法令等	水道法					
	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)						
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成	8	年度	～	令和	4	年度
	施策項目	8. 上下水道の整備			根拠法令等	水道法					
事業概要	本市は昭和26年に水道事業を創設し、これまで第四次にわたる拡張事業を完了した。その後、平成8年度より開始した第五次拡張事業、水道広域化施設整備では、近年における住宅開発や都市化の進行による給水人口の増加や平成13年度末の公共下水道供用開始に伴う水需要の増加により今後予測される供給量の不足に対応するため、配水管などを整備することにより公衆衛生の向上、生活環境の改善及び給水の確保を図るものである。				事業の性質（複数選択可）						
達成のめやす	計画給水人口60,000人と計画1日最大給水量23,800t				●	1 継続性のある事業					
留意事項					●	2 緊急性の高い事業					
						3 人口増加に寄与する事業					
期待する効果	水道水の安定供給と公衆衛生の向上				●	4 住民サービス向上事業					
						5 防災関連事業					
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度		令和2年度		令和3年度		優先順位マトリックス(ハード事業のみ)				
	L=685m		L=460m		L=1360m		1 最終目標 有収率の向上				
年度の事業内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業の位置づけ				
	・配水管布設工事 L=685m ・舗装工事 A=4,100㎡		・配水管布設工事 L=460m ・配水管測量設計委託 L=1,360m		・配水管布設工事 L=1,360m ・舗装工事 A=7,300㎡		・配水管布設工事 ・配水池築造工事 (この欄には事業全体の内容を記載のこと)				
事業計画(事業費、単位:千円)											
財源内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業費				
	国	15,100	8,200	24,520	377,866						
	県	0	0	0	0						
	地方債	15,100	8,200	24,500	377,800						
	負担金	0	0	0	0						
	その他(一般会計出資金)	15,100	8,200	24,500	377,800						
	一般財源	23,337	9,907	26,630	514,996						
合計	68,637	34,507	100,150	1,648,462							
予算費目	会計	水道事業		会計	費目名	資本的支出		費			
補助金	あり	⇒	名称	福岡県生活基盤施設耐震化等補助金 水道事業運営基盤強化推進等事業	対象事業費	24,600 千円	補助率(%)	33.3%	補助予定額	8,200 千円	
地方債	あり	⇒	名称	水道事業 (建設改良/上水道)	対象事業費	24,600 千円	充当率(%)	33.3%	充当予定額	8,200 千円	

事業番号	事業名 汚水管路建設改良費				新規・既存の別	既存			
課名	下水道課		係名	下水道係					
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了（期間を設定していない場合は空白）				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成 5 年度	～ 令和 年度			
	施策項目	8. 上下水道の整備			根拠法令等	下水道法			
事業概要	生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を目的とした管渠の建設を行い、下水道の整備を図る。				事業の性質（複数選択可）				
達成のめやす	平成37年度、認可区域下水道整備率86.6%				●	1 継続性のある事業			
						2 緊急性の高い事業			
留意事項	平成31年3月事業認可区域の拡大。現事業認可区域：421ha				●	3 人口増加に寄与する事業			
						4 住民サービス向上事業			
期待する効果	都市の健全な発達及び公衆衛生の向上ならびに公共水域の水質保全。					5 防災関連事業			
						6 総合戦略対象事業			
数値目標 （事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	優先順位マトリックス（ハード事業のみ）					
	77.6%	80.0%	81.9%	6					
年度の事業内訳	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと				最終目標				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業の位置づけ					
	・汚水管渠 L=1,855m ・実施設計委託（開削）L=2,000m ・家屋調査委託 N=120件	・汚水管渠 L=2,405m（資22-1、2） ・実施設計委託（開削）L=3,938m（資22-1、2） ・家屋調査委託 N=172件（資22-1）	・汚水管渠 L=1,572m ・実施設計委託（開削）L=1,080m ・家屋調査委託 N=120件	・汚水幹線 L=41,500m ・汚水面整備 A=1,618ha ・汚水中継ポンプ場 2箇所 ・終末処理場 1箇所 （この欄には事業全体の内容を記載のこと）					
事業計画（事業費、単位：千円）									
財源内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業費					
	国	100,000	160,600	120,000	26,363,350				
	県	0	12,654	0	0				
	地方債	119,800	177,600	108,000	23,727,000				
	負担金	0	0	0	0				
	その他	30,588	38,263	35,000	2,636,350				
	一般財源	50,180	40,055	40,000	15,216,300				
	合計	300,568	429,172	303,000	67,943,000				
予算費目	会計	公共下水道事業	会計	費目名	資本的支出	費			
補助金	あり	⇒ 名称	社会資本整備交付金	対象事業費	321,200 千円	補助率（%）	50.0%	補助予定額	160,600 千円
地方債	あり	⇒ 名称	下水道事業債	対象事業費	394,600 千円	充当率（%）	45.0%	充当予定額	177,600 千円

事業番号	事業名				下水道ストックマネジメント支援制度(行橋浄化センター・西宮市中継ポンプ場)	新規・既存の別	既存			
課名	下水道課		係名	下水道係						
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成 29 年度	～ 令和 年度			
	施策項目	8. 上下水道の整備				根拠法令等				
事業概要	日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止し、計画的な点検・調査及び修繕・改築を行うことにより持続的な下水道機能の確保とライフサイクルコストの低減を図る。					事業の性質(複数選択可)				
達成のめやす						<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業			
留意事項						<input checked="" type="radio"/>	2 緊急性の高い事業			
							3 人口増加に寄与する事業			
期待する効果	中長期的な施設の状態を予測しながら、老朽化した下水道施設の計画的・効率的な改築・更新ができる。					優先順位マトリックス(ハード事業のみ)				
						1				
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度	令和2年度		令和3年度		最終目標				
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと									
年度の事業内訳	令和元年度	令和2年度		令和3年度		全体事業の位置づけ				
	・施設改築・更新(行橋浄化センター) ・実施設計(行橋浄化センター)	・施設改築・更新(行橋浄化センター・西宮市中継ポンプ場)(資2-1~3) ・実施設計(行橋浄化センター・西宮市中継ポンプ場)(資2-1~3)		・施設改築・更新(行橋浄化センター・西宮市中継ポンプ場)		(この欄には事業全体の内容を記載のこと)				
事業計画(事業費、単位:千円)										
財源内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業費			
	国	75,100	6,440		162,200		652,240			
	県	0	0		0		0			
	地方債	64,500	5,800		133,650		587,010			
	負担金	0	0		0		0			
	その他	0	0		0		0			
	一般財源	7,400	1,780		4,150		79,230			
	合計	147,000	14,020		300,000		1,318,480			
予算費目	会計	公共下水道事業		会計	費目名	資本的支出				
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備交付金	対象事業費	12,880 千円	補助率(%)	50.0%	補助予定額	6,440 千円
地方債	あり	⇒	名称	下水道事業債	対象事業費	12,880 千円	充当率(%)	45.0%	充当予定額	5,800 千円

事業番号	事業名 行橋浄化センター処理場費				新規・既存の別	既存	
課名	下水道課	係名	処理場係				
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了（期間を設定していない場合は空白）		
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成	年度 ~ 平成 年度	
	施策項目	8. 上下水道の整備			根拠法令等		
事業概要	行橋浄化センター施設・設備の維持管理及び工事修繕等を行う。				事業の性質（複数選択可）		
達成のめやす					●	1 継続性のある事業	
留意事項					●	2 緊急性の高い事業	
						3 人口増加に寄与する事業	
						4 住民サービス向上事業	
期待する効果	下水道の整備を図り、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、公共用水域の水質の保全に資する。行橋浄化センターの予防保全的な管理が実施でき、事故発生や設備の機能停止等による下水道使用者への影響が回避できる。				優先順位マトリックス（ハード事業のみ）		
数値目標 （事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標			
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと						
年度の事業内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業の位置づけ			
	・消耗品、光熱水費等 ・管理委託料、保守点検業務委託料、水質分析業務委託料等 ・行橋浄化センター維持管理費等	・消耗品、光熱水費等 ・管理委託料、保守点検業務委託料、水質分析業務委託料等 ・行橋浄化センター維持管理費等	・消耗品、光熱水費等 ・管理委託料、保守点検業務委託料、水質分析業務委託料等 ・行橋浄化センター維持管理費等	（この欄には事業全体の内容を記載のこと）			
事業計画（事業費、単位：千円）							
財源内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業費			
	国	0	0	0	0		
	県	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	負担金	0	0	0	0		
	その他	150,588	146,587	146,587	0		
	一般財源	0	0	0	0		
	合計	150,588	146,587	146,587	0		
予算費目	会計	公共下水道事業	会計	費目名	収益的支出	費	
補助金	なし	⇒	名称	対象事業費	0千円	補助率(%) 0.0%	補助予定額 0千円
地方債	なし	⇒	名称	対象事業費	0千円	充当率(%) 0.0%	充当予定額 0千円

事業番号	事業名 西宮市中継ポンプ場費				新規・既存の別	既存	
課名	下水道課	係名	処理場係				
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)		
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成	年度 ~ 平成 年度	
	施策項目	8. 上下水道の整備			根拠法令等		
事業概要	汚水中継ポンプ場の維持管理及び工事修繕等を行う。				事業の性質（複数選択可）		
達成のめやす					●	1 継続性のある事業	
留意事項					●	2 緊急性の高い事業	
						3 人口増加に寄与する事業	
						4 住民サービス向上事業	
期待する効果	下水道の整備を図り、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、公共用水域の水質の保全に資する。汚水中継ポンプ場の予防保全的な管理が実施でき、事故発生や設備の機能停止等が回避できる。				優先順位マトリックス（ハード事業のみ）		
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標			
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと						
年度の事業内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業の位置づけ			
	・光熱水費等 ・管理委託料、保守点検委託料 ・汚水中継ポンプ場維持管理費等	・光熱水費等 ・管理委託料、保守点検委託料 ・汚水中継ポンプ場維持管理費等	・光熱水費等 ・管理委託料、保守点検委託料 ・汚水中継ポンプ場維持管理費等	(この欄には事業全体の内容を記載のこと)			
事業計画(事業費、単位:千円)							
財源内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業費			
	国	0	0	0	0		
	県	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	負担金	0	0	0	0		
	その他	6,721	7,820	7,820	0		
	一般財源	0	0	0	0		
	合計	6,721	7,820	7,820	0		
予算費目	会計	公共下水道事業	会計	費目名	収益的支出	費	
補助金	なし	⇒	名称	対象事業費	0千円	補助率(%) 0.0%	補助予定額 0千円
地方債	なし	⇒	名称	対象事業費	0千円	充当率(%) 0.0%	充当予定額 0千円

事業番号	3294	事業名	じん芥収集車購入事業(福祉収集車両)			新規・既存の別	新規			
課名	環境課		係名	管理係						
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)					
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成	年度	～	平成	年度	
	施策項目	9. ごみ処理・リサイクル対策の推進			根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
事業概要	行橋市ごみ処理計画に基づき、高齢化社会に対応したサービスとして、市内の一般廃棄物の福祉収集を開始するため、それに対応する車両を購入する。				事業の性質(複数選択可)					
達成のめやす	福祉収集用車両を購入することにより、ごみ出しが困難な高齢者等の家庭から排出される廃棄物を、個別に収集運搬することができる。				1 継続性のある事業					
					<input checked="" type="checkbox"/> 2 緊急性の高い事業					
					3 人口増加に寄与する事業					
					<input checked="" type="checkbox"/> 4 住民サービス向上事業					
					5 防災関連事業					
					6 総合戦略対象事業					
					7 その他()					
留意事項										
期待する効果	高齢者等に対して廃棄物収集の個別収集を行うことにより、ごみ出しが困難な高齢者等のサービス向上を図ることができる。				優先順位マトリックス(ハード事業のみ)					
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和元年度		令和2年度		令和3年度		最終目標			
	福祉収集運搬を円滑にする		福祉収集運搬を円滑にする		福祉収集運搬を円滑にする					
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと									
年度の事業内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業の位置づけ			
			福祉収集車(軽ダンプ)を購入する。 2,094千円				(この欄には事業全体の内容を記載のこと)			
事業計画(事業費、単位:千円)										
財源内訳	令和元年度		令和2年度		令和3年度		全体事業費			
	国	0	1,700		0		1,700			
	県	0	0		0		0			
	地方債	0	0		0		0			
	負担金	0	0		0		0			
	その他	0	0		0		0			
	一般財源	0	394		0		395			
	合計	0	2,094		0		2,095			
予算費目	会計	会計		費目名	費					
補助金	あり	⇒	名称	調整交付金、再編交付金	対象事業費	1,100千円	補助率(%)	100.0%	補助予定額	1,100千円
地方債		⇒	名称		対象事業費	0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円

事業番号	3294	事業名	じん芥収集車購入事業			新規・既存の別	既存			
課名	環境課		係名	管理係						
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了（期間を設定していない場合は空白）					
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成	年度	～	平成	年度	
	施策項目	9. ごみ処理・リサイクル対策の推進			根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
事業概要	行橋市ごみ処理基本計画に基づき、市内の一般廃棄物を収集運搬処理することにより生活環境の保全と公衆衛生の向上を図るため、じん芥収集車等を購入する。				事業の性質（複数選択可）					
達成のめやす	じん芥収集車等を購入することにより、効率的に収集運搬できる。				●	1 継続性のある事業				
留意事項						2 緊急性の高い事業				
						3 人口増加に寄与する事業				
					●	4 住民サービス向上事業				
期待する効果	一般廃棄物を効率的に収集運搬することができ、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図ることができる。				優先順位マトリックス（ハード事業のみ）					
					5					
数値目標 （事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標						
	ごみ収集運搬を円滑にする		ごみ収集運搬を円滑にする		ごみ収集運搬を円滑にする					
右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと										
年度の事業内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業の位置づけ						
	じん芥収集車1台購入	じん芥収集車2台購入 @10,900千円×1台=10,900千円 軽トラック1台購入 @1,328千円 旅費 27千円	じん芥収集車2台購入	(この欄には事業全体の内容を記載のこと)						
事業計画（事業費、単位：千円）										
財源内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業費						
	国	9,000	11,000	20,000	0					
	県	0	0	0	0					
	地方債	0	0	0	0					
	負担金	0	0	0	0					
	その他	0	0	0	0					
	一般財源	1,334	1,255	1,800	0					
	合計	10,334	12,255	21,800	0					
予算費目	会計	会計	費目名	費						
補助金	あり	⇒	名称	調整交付金	対象事業費	11,000 千円	補助率(%)	100.0%	補助予定額	11,000 千円
地方債		⇒	名称		対象事業費	0 千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0 千円

事業番号	事業名 蛍光管・乾電池回収ボックス設置事業				新規・既存の別	新規		
課名	環境課	係名	管理係					
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了（期間を設定していない場合は空白）			
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成 31 年度	～ 平成 年度		
	施策項目	9. ごみ処理・リサイクル対策の推進			根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
事業概要	拠点回収を実施している蛍光管・乾電池の回収ボックスが老朽化しているため、計画的に更新する。				事業の性質（複数選択可）			
					<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業		
					<input checked="" type="radio"/>	2 緊急性の高い事業		
						3 人口増加に寄与する事業		
達成のめやす	全26箇所(28台)更新				<input checked="" type="radio"/>	4 住民サービス向上事業		
						5 防災関連事業		
留意事項	現設置箇所の必要性について精査する。					6 総合戦略対象事業		
						7 その他（ ）		
期待する効果	蛍光管・乾電池の分別収集が効果的に行える。				優先順位マトリックス（ハード事業のみ）			
					5			
数値目標 （事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標				
		9箇所更新	9箇所更新	合計26箇所(28台)更新				
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと							
年度の事業内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業の位置づけ				
		特に痛みが激しいもの、利用頻度が高いもの、早急な対応が必要と思われる箇所を更新する。	痛みが激しいもの、利用頻度が高いもの、早急な対応が必要と思われる箇所を更新する。	(この欄には事業全体の内容を記載のこと)				
事業計画(事業費、単位:千円)								
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業費				
財源内訳	国	0	0	0	0			
	県	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0			
	負担金	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	0	2,258	1,911	6,427			
	合計	0	2,258	1,911	6,427			
予算費目	会計	会計	費目名	費				
補助金	⇒	名称	対象事業費	0千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0千円
地方債	⇒	名称	対象事業費	0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円

事業番号	2272	事業名	音無苑施設整備事業			新規・既存の別	既存		
課名	環境課		係名	管理係					
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了（期間を設定していない場合は空白）				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成	年度	～	平成	48 年度
	施策項目	9. ごみ処理・リサイクル対策の推進			根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
事業概要	老朽化したし尿処理施設音無苑の延命化を図るため、施設を整備する工事				事業の性質（複数選択可）				
					●	1 継続性のある事業			
						2 緊急性の高い事業			
						3 人口増加に寄与する事業			
達成のめやす	老朽化したし尿処理施設音無苑の延命化				●	4 住民サービス向上事業			
						5 防災関連事業			
留意事項						6 総合戦略対象事業			
						7 その他（ ）			
期待する効果	老朽化したし尿処理施設音無苑の延命化が図れる。				優先順位マトリックス（ハード事業のみ）				
					3				
数値目標 （事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標					
	音無苑を延命化する		音無苑を延命化する		音無苑を延命化する		概ね令和18年まで現施設を使用する。		
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと								
年度の事業内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業の位置づけ					
	細砂除去装置増設及び前処理制御盤更新工事 55,550,000円	窒素リン計他更新工事 40,700,000円 倉庫屋根改修工事 0円	水中攪拌機設置 30,800,000円	(この欄には事業全体の内容を記載のこと)					
事業計画（事業費、単位：千円）									
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全体事業費					
財源内訳	国	0	0	0	0				
	県	0	0	0	0				
	地方債	31,200	22,800	17,300	0				
	負担金	0	0	0	0				
	その他	13,887	10,175	7,700	0				
	一般財源	10,463	7,725	5,800	0				
	合計	55,550	40,700	30,800	0				
予算費目	会 計	会 計	費目名	費					
補助金	⇒	名称	対象事業費	0 千円	補助率（%）	0.0%	補助予定額	0 千円	
地方債	⇒	名称	対象事業費	305,250 千円	充当率（%）	75.0%	充当予定額	228,000 千円	